



15～34 歳の恋愛と男女交際

- 男女交際・結婚に関する意識調査より -

株式会社明治安田生活福祉研究所（社長 木島 正博）は、2017 年 3 月に、全国の 15～34 歳の男女 10,304 人を対象に、「男女交際・結婚に関する意識調査」を実施しました。10 代後半は高校生と大学生等（大学・大学院・短大・専門学校）を調査対象とし、20 代前半では未婚の社会人と大学生等を調査対象としています。さらに 20 代後半～30 代前半のアラサー世代では未婚・既婚の社会人を調査対象としています。

本リリースでは、恋愛や男女交際への意識と実態について、調査で明らかになった最新の状況をご紹介します。

< 主 な 内 容 >

○アラサー(25～34 歳)の男女 結婚と交際とは別 男性 4人に1人 女性 6人に1人 (7 ページ)	○30 代前半男性が交際経験がない理由 どのように交際すればよいかわからない 35.0% 恋愛に全く関心がない 32.3% (9 ページ)	○15～24 歳の未婚男性のうち 恋愛に消極派 7割 (草食系) 恋愛に積極派 2割 恋愛に無関心派 1割 (15 ページ)																											
○アラサー(25～34 歳)の男性 恋愛に積極派は？ 既婚者 53.4% 未婚者 23.1% (16 ページ)	○恋愛に積極派の男性の割合 (ルックス・見た目に) 自信がある 50.5% 自信はない 22.6% (20 ページ)	○恋愛に積極派の男性の割合(20～34 歳社会人) (経済力に) 自信がある 51.2% 自信はない 30.0% (21 ページ)																											
○生活に満足 <table border="1"> <thead> <tr> <th></th><th>男性</th><th>女性</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>恋愛に積極派</td><td>59.9%</td><td>58.3%</td></tr> <tr> <td>恋愛に無関心派</td><td>36.9%</td><td>50.5%</td></tr> </tbody> </table> (23 ページ)		男性	女性	恋愛に積極派	59.9%	58.3%	恋愛に無関心派	36.9%	50.5%	○恋人がいる友人がうらやましい(15～34 歳未婚) <table border="1"> <thead> <tr> <th></th><th>男性</th><th>女性</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>恋愛に積極派</td><td>65.0%</td><td>77.8%</td></tr> <tr> <td>恋愛に消極派(草食系)</td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table> (28 ページ)		男性	女性	恋愛に積極派	65.0%	77.8%	恋愛に消極派(草食系)			○ポジティブ・積極的なほうだ(20～34 歳社会人) <table border="1"> <thead> <tr> <th></th><th>男性</th><th>女性</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>両親がとても円満</td><td>55.6%</td><td>49.9%</td></tr> <tr> <td>両親がとても不仲</td><td>36.4%</td><td>31.5%</td></tr> </tbody> </table> (39 ページ)		男性	女性	両親がとても円満	55.6%	49.9%	両親がとても不仲	36.4%	31.5%
	男性	女性																											
恋愛に積極派	59.9%	58.3%																											
恋愛に無関心派	36.9%	50.5%																											
	男性	女性																											
恋愛に積極派	65.0%	77.8%																											
恋愛に消極派(草食系)																													
	男性	女性																											
両親がとても円満	55.6%	49.9%																											
両親がとても不仲	36.4%	31.5%																											

ご照会先

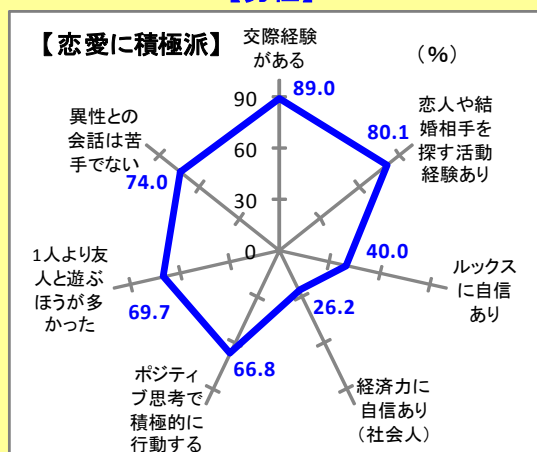
(株)明治安田生活福祉研究所
生活設計研究部
力石(チカライシ)・横田・上條・
瀬在(セザイ)・木下川(キカワ)

本調査内容の引用・転載をご希望の場合は、下記までご連絡いただきますようお願いいたします。
電 話：03(6261)6411 FAX：03(3511)3200
Eメール：chikaraishi@myilw.co.jp
yokota@myilw.co.jp

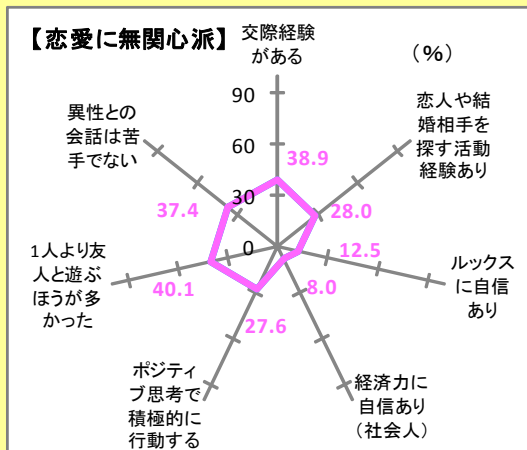
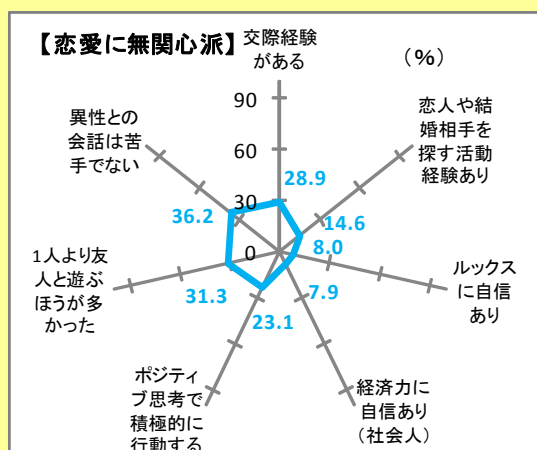
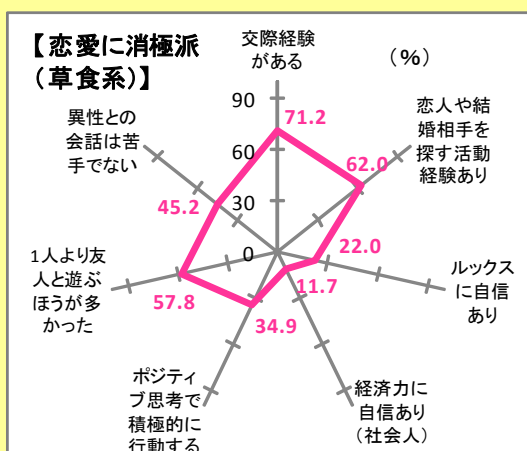
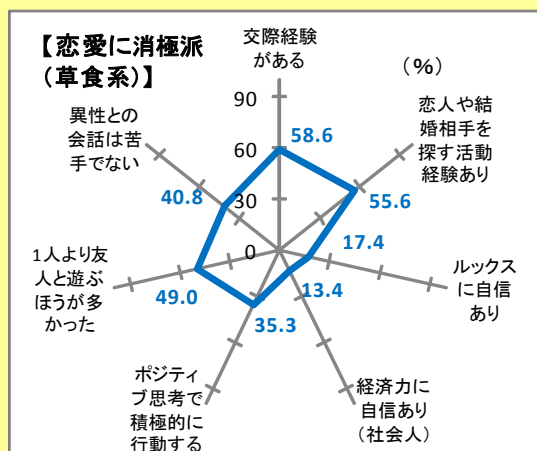
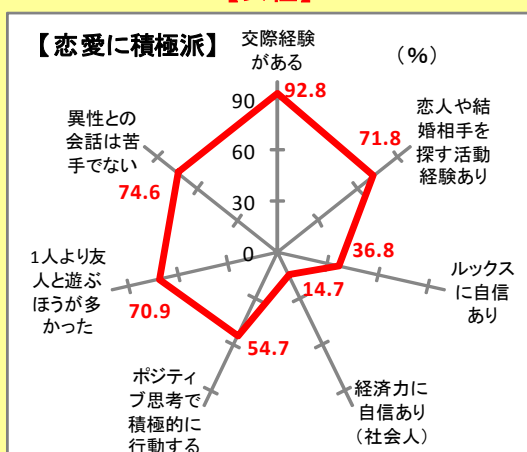
恋愛・男女交際へのスタンスと行動スタイル

15～34 歳の男女について、恋愛・男女交際へのスタンスを「恋愛に積極派」「恋愛に消極派（草食系）」「恋愛に無関心派」の3タイプで見た場合、「交際経験の有無」「恋人や結婚相手を探す活動経験の有無」「ルックスや経済力への自信の有無」「ポジティブ思考で積極的に行動するかどうか」などの行動スタイルに違いが見られました。

【男性】



【女性】



＜ 調査の概要 ＞

- (1) 調査対象： 全国の 15～34 歳の男女。
ただし、質問により対象の年齢層が異なる場合があります。
- (2) 調査方法： WEB アンケート調査（株式会社マクロミル登録モニター対象）
- (3) 調査時期： 2017 年 3 月 17 日～3 月 21 日
- (4) 回 収 数： 10,304 人
- (5) サンプルの属性

		未婚者(注)			既婚者	計
		高校生	大学生等 (大学・大学 院・短大・ 専門)	社会人	社会人	
15～19歳	男性	618	258	—	—	876
	女性	618	258	—	—	876
20～24歳	男性	—	927	567	—	1,494
	女性	—	927	567	—	1,494
25～29歳	男性	—	—	824	567	1,391
	女性	—	—	824	567	1,391
30～34歳	男性	—	—	824	567	1,391
	女性	—	—	824	567	1,391
計		1,236	2,370	4,430	2,268	10,304

(注) 本調査における「未婚者」は結婚経験がない人を指します。

(6) サンプル数について

この調査では、上記の属性ごとに相当数のサンプルを収集して分析を行なうことを目的としています。そのため、当資料では人口比などによる補正は行なっておりません。

<目 次>

I. 交際と結婚 ～告白と恋人～

1. 交際にあたり、結婚を意識する程度 ～交際は結婚の前提か～ 7 ページ
 - ◎アラサーの 2 割は「結婚したい人とはしか交際しない」
 - ◎アラサーの男性 4 人に 1 人・女性 6 人に 1 人は「結婚と交際とは別」
 - ◎交際経験がない理由
 - 【男性】 3 人に 1 人が「どのように交際すればよいかわからない」
 - 【女性】 3 人に 1 人が「交際したい男性に出会わなかった」
2. 交際したいと思う異性と告白の有無 10 ページ
 - ◎交際相手がいないアラサーの 8 割が「恋人にしたいと思う異性はいない」
 - ◎告白しない理由…交際相手との関係悪化への不安
3. “仲の良い恋人未満の異性”の実態 12 ページ
 - ◎仲の良い恋人未満の異性がいるのはアラサー男女の 4 割
 - ◎しかし、「相手に恋愛感情を抱いてないから」恋人にまで発展しないアラサーが
男性 3 割・女性 4 割

II. 恋愛・男女交際へのスタンス

1. 恋愛・男女交際へのスタンス
 - ～恋愛に積極派・恋愛に消極派（草食系）・恋愛に無関心派～ 15 ページ
 - ◎10 代後半・20 代前半の男性の 7 割が草食系
 - ◎既婚者のほうが恋愛に積極派の割合が高い（既婚男性 53.4%・未婚男性 23.1%）
2. 働き方・年収と恋愛・男女交際へのスタンス 17 ページ
 - ◎高年収の男性は恋愛・男女交際に積極的
 - ◎恋愛に無関心派の女性 6 割が「長く働きたい」
3. ルックス・経済力の自信と恋愛・男女交際へのスタンス 20 ページ
 - ◎ルックス・収入に自信のある人は恋愛・男女交際に積極的
4. 思考・行動のスタイル、他人との距離感と恋愛・男女交際へのスタンス 22 ページ
 - ◎恋愛に積極派の男性 7 割・女性 5 割がポジティブ思考・積極行動派
 - ◎恋愛に積極派男女の 6 割は生活に満足
 - ◎草食系の男性 4 割が「自分 1 人のときが一番心地よい」

Ⅲ. 恋愛・男女交際の実態 ～草食系を中心に～

1. 草食系と異性の友人の有無25 ページ
◎異性の友人が多くいる草食系は2割
◎仲の良い恋人未満の異性がいるのは草食系で3人に1人
2. 草食系の本音27 ページ
◎草食系の男性7割が自分の恋愛・男女交際の現状を「情けない・嫌だ」
◎草食系の男性7割・女性8割が「恋人がいる友人をうらやましく思う」
3. 恋人との交際経験と出会うための活動29 ページ
◎恋人との交際経験がない草食系は男性4割・女性3割
◎今、恋人がいなくても「欲しい」と思う草食系は男性7割・女性8割
4. どんな人と交際する?32 ページ
◎4人に1人は結婚相手として本命ではない異性をキープした経験あり
◎結婚したい人としてしか交際しないアラサー草食系は、男性19.6%・女性17.4%

Ⅳ. 中学生・高校生の頃の環境と恋愛・男女交際への意識

1. 友人との関わりと男女交際34 ページ
◎恋愛に積極的な友人が身近に少なかった男性の5割は、恋人との交際経験がない
◎1人遊びが多かった男性は、仲の良い恋人未満の異性も恋人もできにくい!?
◎1人遊び派の男性の81.3%が恋愛に消極的、または興味がない
2. 失敗を避けることを重視した育てられ方と恋愛・男女交際への意識38 ページ
◎失敗を避けることを重視して育てられると、恋愛にも消極的、または興味がない傾向に!?
3. 両親の仲の良さと現在のライフスタイル・生活意識39 ページ
◎両親が円満な人ほど「ポジティブ思考」
◎両親が円満な人ほど「生活に満足」
◎両親が不仲な人ほど「1人でいるのが心地よい」

V. 異性とのコミュニケーションの苦手意識と男女交際

1. 異性とのコミュニケーションが苦手な人の男女交際.....42 ページ

- ◎男性は2人に1人が「異性と話すのが苦手」
- ◎異性と話すのが苦手な男性の4割・女性の3割が「どのように男女交際すればよいか、よくわからない」
- ◎異性と話すのが苦手な男女の5割が「ふられるのが目に見えている」から告白しない

VI. 既婚者の独身時代の意識と未婚者の意識

1. 既婚者の独身時代の意識と未婚者の意識 45 ページ

- ◎未婚者より既婚者のほうが「ルックス・見た目に自信がある」
(既婚男性 32.3%・未婚男性 18.4%)
- ◎未婚者より既婚者のほうが「物事をポジティブに考えて積極的に行動する」
(既婚男性 56.7%・未婚男性 35.4%)
- ◎既婚者より未婚者のほうが「自分と同等かそれ以上の学歴・収入等の異性と結婚したい」
(既婚女性 68.0%・未婚女性 78.2%)

VII. 本リリースの最後に

本リリースの最後に 48 ページ

I. 交際と結婚 ～告白と恋人～

1. 交際にあたり、結婚を意識する程度 ～交際は結婚の前提か～

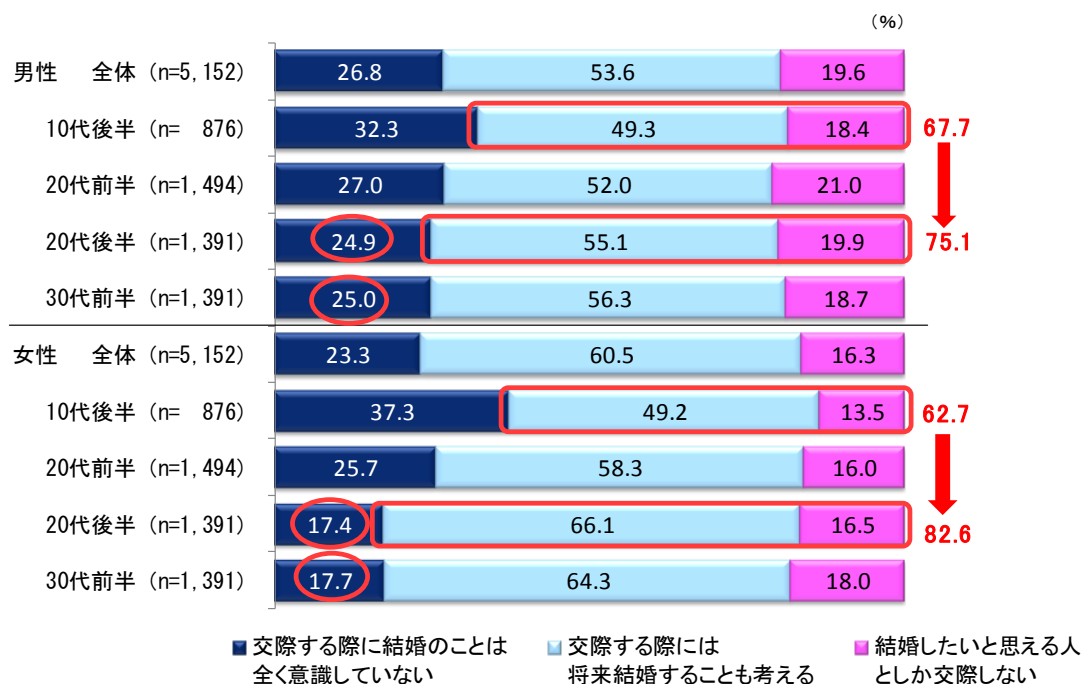
- ◎ アラサー（注）の2割は「結婚したい人とはしか交際しない」
 - ◎ アラサー（注）の男性4人に1人・女性6人に1人は「結婚と交際とは別」
 - ◎ 交際経験がない理由
 - 【男性】3人に1人が「どのように交際すればよいかわからない」
 - 【女性】3人に1人が「交際したい男性に出会わなかった」
- （注）本リリースでは「アラサー」は「20代後半」および「30代前半」を指します。

➤ アラサーの男性4人に1人・女性6人に1人は「結婚と交際とは別」

交際と結婚の関係をどのように考えているかたずねたところ、結婚を少しでも意識している人（「交際する際には将来結婚することも考える」＋「結婚したいと思える人とはしか交際しない」）の割合は、20代後半で最も高くなり（男性75.1%・女性82.6%）、30代前半も20代後半とほぼ同水準となっています。

また、「交際する際に結婚のことは全く意識していない」割合は、20代後半以上の男性の約4人に1人（20代後半24.9%・30代前半25.0%）・女性の約6人に1人（20代後半17.4%・30代前半17.7%）となっています（図表1）。

図表1 交際と結婚の関係をどのように考えているか（15～34歳）



➤ 現在の交際相手との結婚を強く意識するのは20代後半から！？

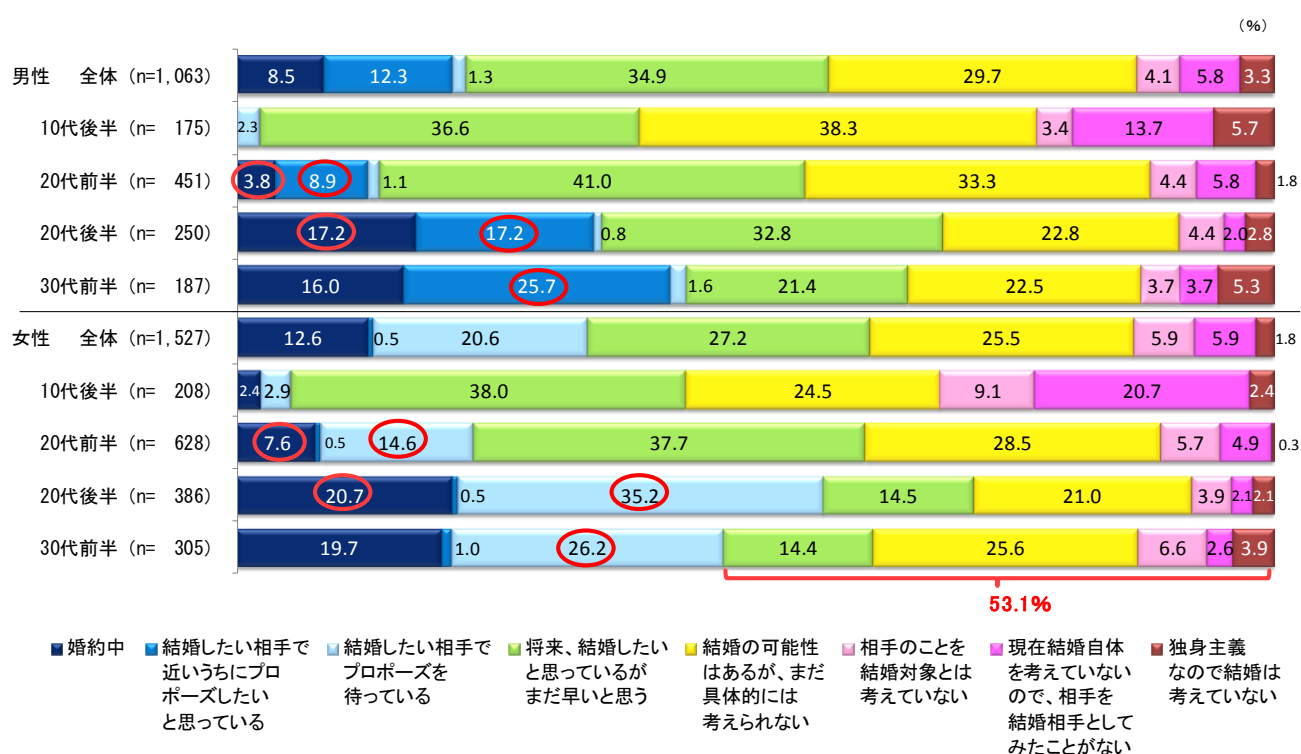
現在恋人がいる未婚者に対して、恋人との結婚についてどう考えているかをたずねたところ、すでに婚約中の割合は20代前半では男性3.8%・女性7.6%にとどまりますが、20代後半では男性17.2%・女性20.7%と高くなっています。

また、男性では「近いうちにプロポーズしたいと思っている」が20代前半の8.9%から20代後半17.2%、30代前半には25.7%となり、結婚への意識が高まることがわかります。

「プロポーズを待っている」女性は、20代前半の14.6%に対し、20代後半は35.2%と20.6ポイント高くなっていますが、30代前半になると26.2%と9.0ポイント低くなっています。これは、30歳という節目を意識して、それまでに結婚する女性たちの存在が背景のひとつとして考えられます。

また、30代前半女性で近い将来の結婚を前提としない交際の割合は53.1%で、30代前半男性もほぼ同水準でした（図表2）。

図表2 現在の恋人と結婚を考えているか（恋人がいる15～34歳の未婚者）



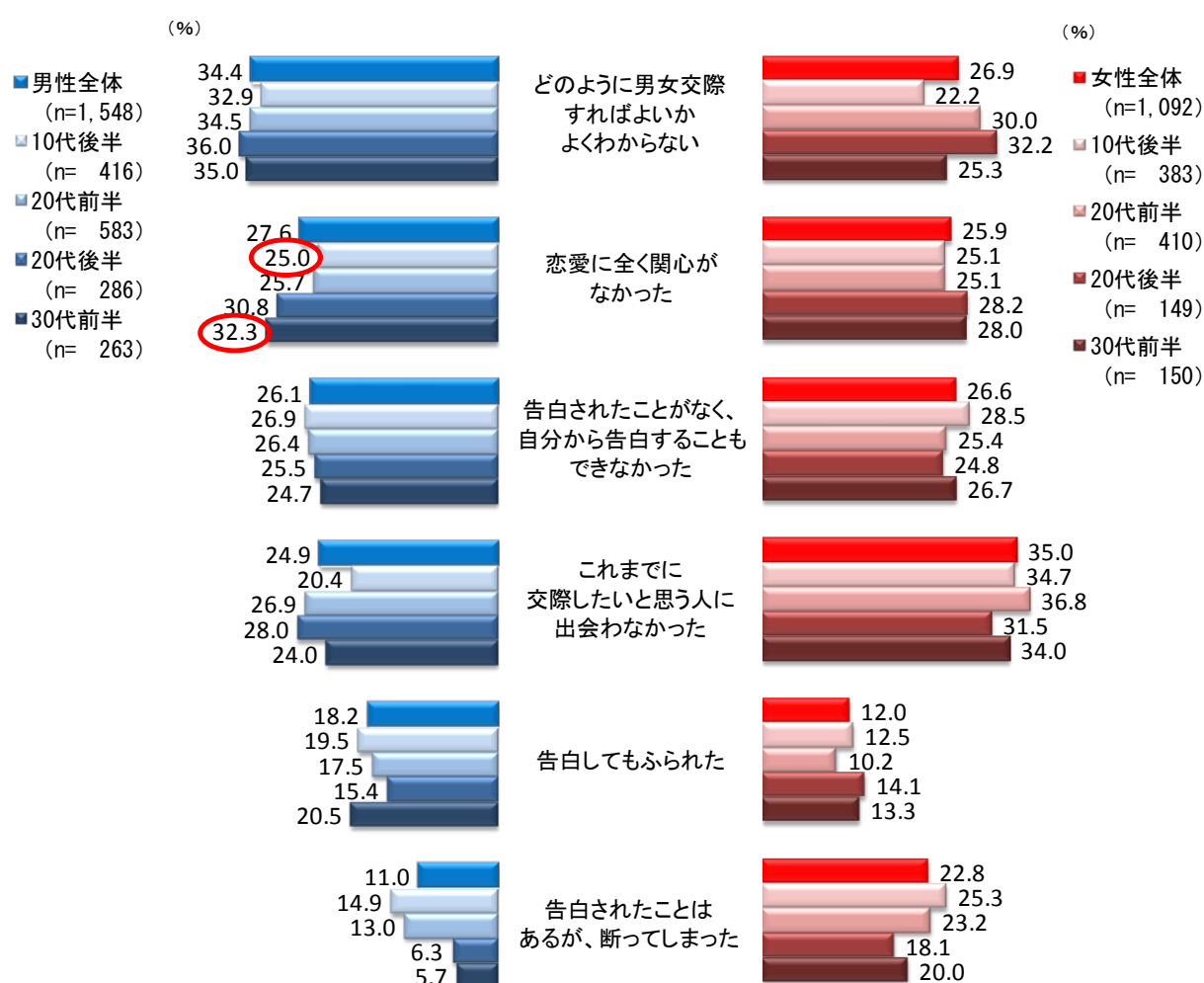
➤ 交際経験がない理由

交際経験がない未婚者に対して、交際経験がない理由をたずねたところ、男性では「どのように男女交際すればよいかよくわからない」割合が最も高く、「恋愛に全く関心がなかった」と続きます。

男性で「恋愛に全く関心がなかった」割合は、10代後半の25.0%から30代前半の32.3%と、年齢層が上がるにつれて高くなります。

一方、女性では「これまでに交際したいと思う人に出会わなかった」割合が高い傾向にあり、各年齢層で男性よりも高くなっています（図表3）。

図表3 交際経験がない理由（交際未経験である15～34歳の未婚者：複数回答）



2. 交際したいと思う異性と告白の有無

- ◎ 交際相手がいないアラサー（注）の8割が「恋人にしたいと思う異性はいない」
- ◎ 告白しない理由…交際相手との関係悪化への不安

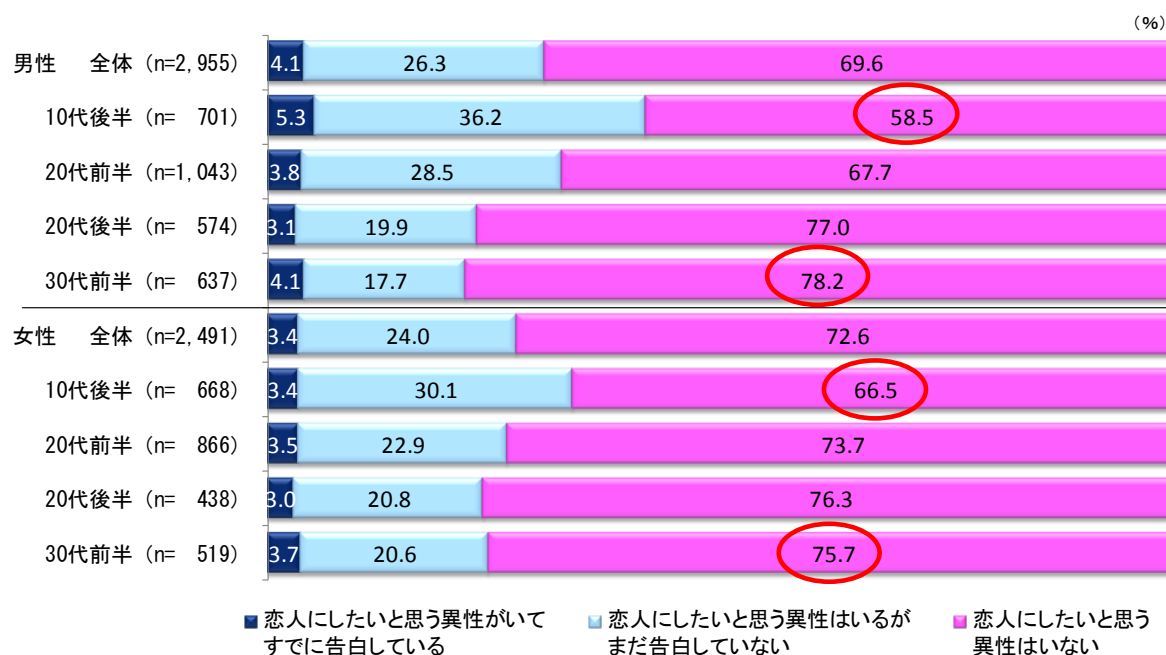
（注）本リリースでは「アラサー」は「20代後半」および「30代前半」を指します。

➤ 交際相手がいないアラサーの8割が「恋人にしたいと思う異性はいない」

現在恋人がいない未婚者に対して、恋人にしたいと思う異性がいるかたずねたところ、「恋人にしたいと思う異性はいない」割合は、10代後半で男性58.5%・女性66.5%です。30代前半では男性78.2%・女性75.7%と、10代後半に比べて高くなっています。

なお、20代後半と30代前半で「恋人にしたいと思う異性はあるがまだ告白していない」人の割合は、男女ともに約2割でした（図表4）。

図表4 恋人にしたいと思う異性はあるか（恋人がいない15～34歳の未婚者）

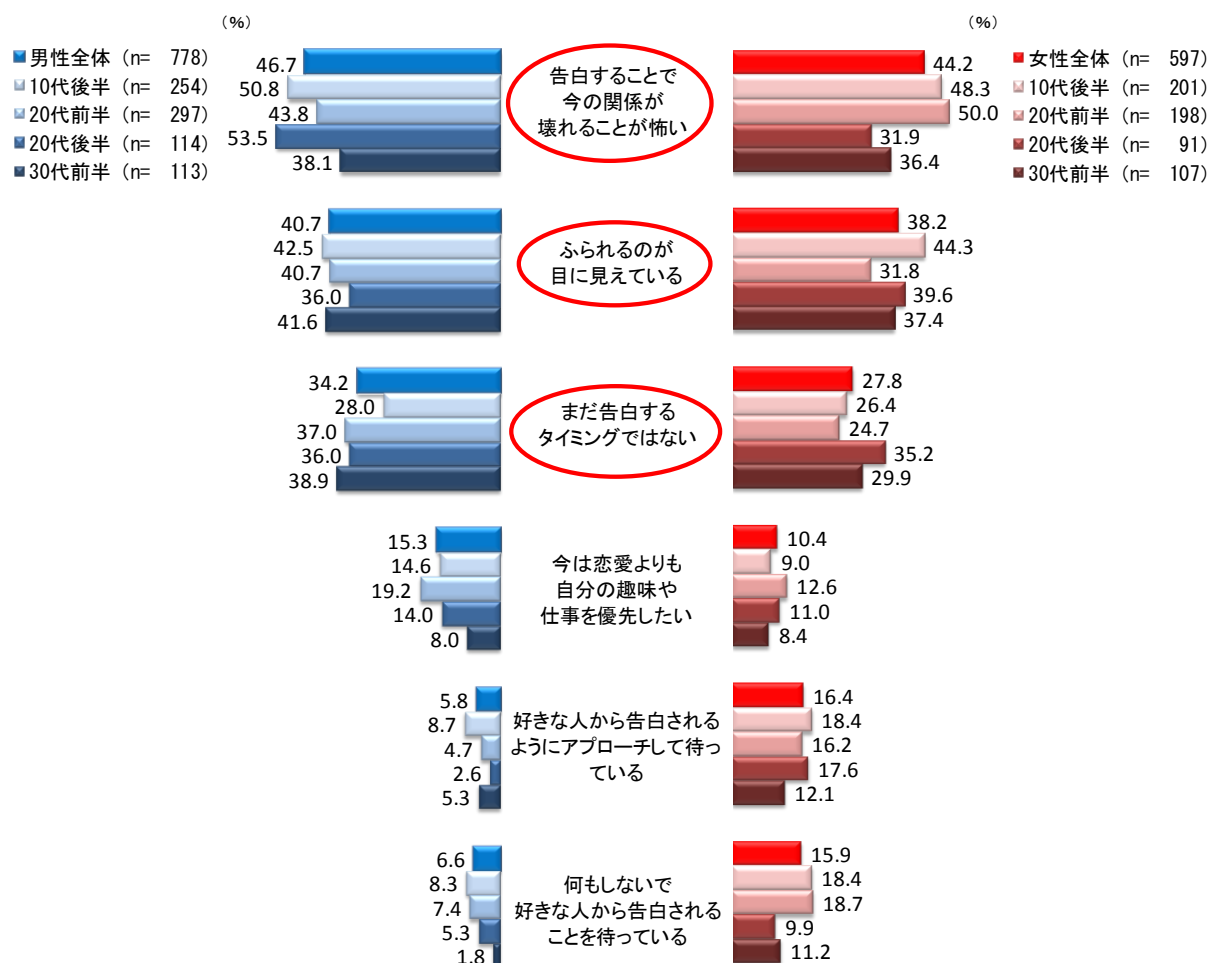


➤ 告白しない理由…交際相手との関係悪化への不安

告白して恋人にしたい異性はあるものの、まだ告白していない人に対して、なぜ自分から告白しないのかをたずねたところ、「告白することで今の関係が壊れることが怖い」「ふられるのが目に見えている」「まだ告白するタイミングではない」を理由とする人の割合が、男女とも上位を占めました（図表5）。

図表5 自分から告白しない理由

（告白したい異性はあるがまだ告白していない15～34歳の未婚者：複数回答）



3. “仲の良い恋人未満の異性”の実態

◎ 仲の良い恋人未満の異性がいるのはアラサー（注）男女の4割

◎ しかし、「相手に恋愛感情を抱いてないから」恋人にまで発展しないアラサー（注）が男性3割・女性4割

（注）本リリースでは「アラサー」は「20代後半」および「30代前半」を指します。

➤ 仲の良い恋人未満の異性がいる人はアラサーで4割

未婚者に対して、恋人ではないが2人で会えるような仲の良い異性の友人がいるかたずねたところ、「いる」（「1人だけいる」＋「複数人いる」）割合は、男女ともに20代前半で最も高く、女性では約5割となっています。20代後半と30代前半では男女ともに約4割となっています（図表6）。

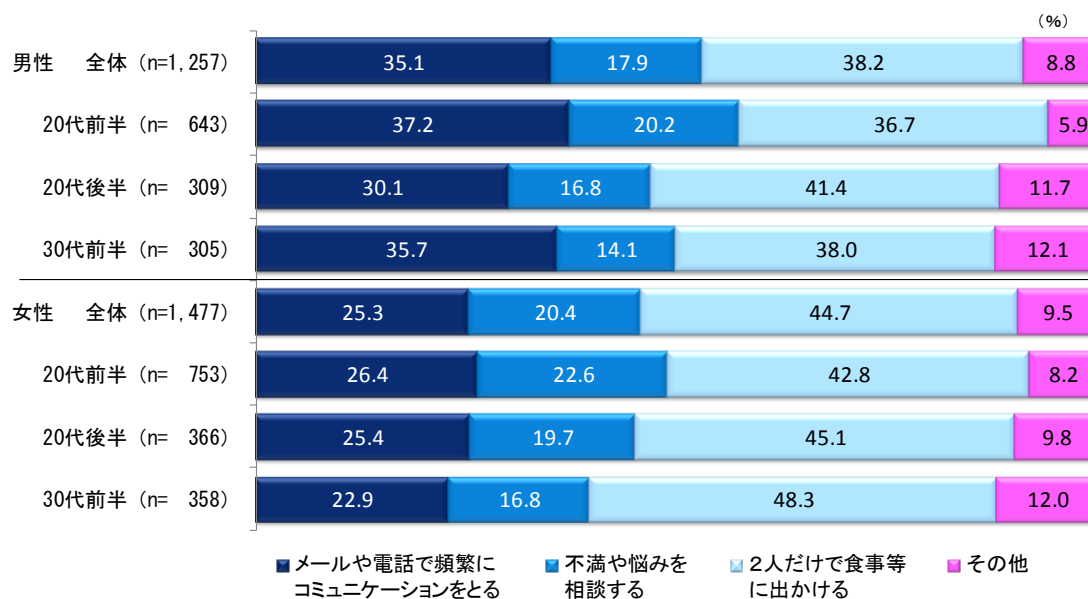
図表6 恋人ではないが2人で会えるような仲の良い異性の友人はいるか（15～34歳の未婚者）



➤ 仲の良い異性の友人とおつき合いは、2人で食事を楽しむこと

20～34歳の未婚者で、恋人ではないが2人で会えるような仲の良い異性の友人がいる人に対して、相手との関係をたずねたところ、男性では「メールや電話で頻繁にコミュニケーションをとる」割合が女性より高く、女性では「2人だけで食事等に出かける」割合が男性より高くなっています（図表7）。

図表7 恋人ではないが2人で会えるような仲の良い異性の友人との関係（20～34歳の未婚者）

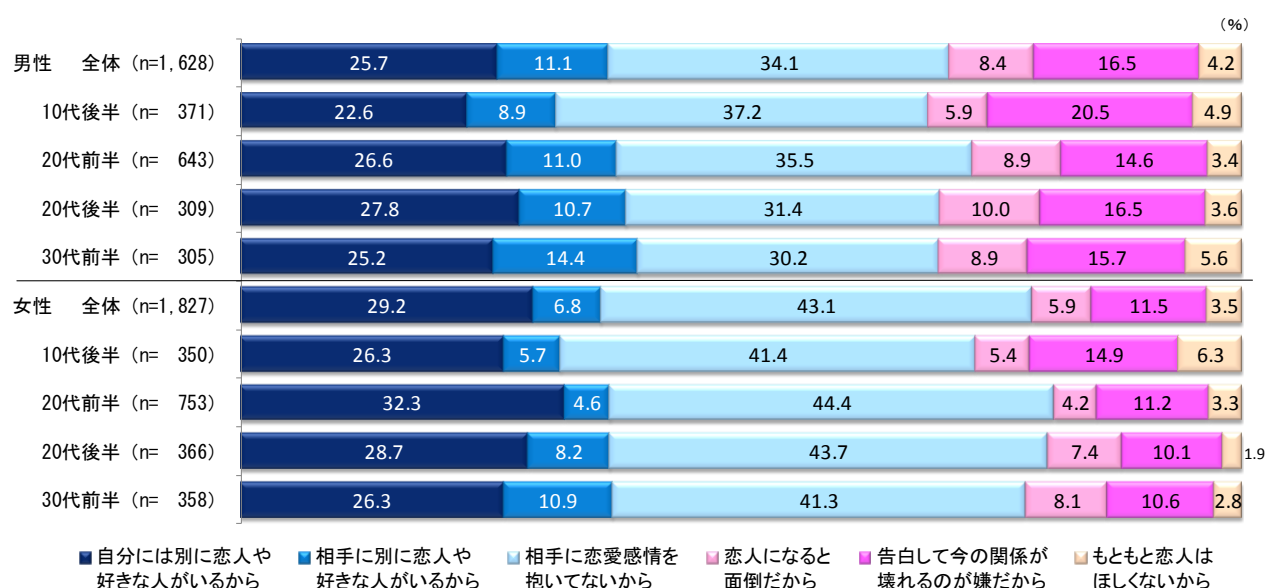


➤ 「相手に恋愛感情を抱いてないから」恋人にまで発展しない

恋人ではなく2人で会えるような仲の良い異性の友人がいる未婚者に対して、相手と恋人関係に発展しない理由をたずねたところ、「相手に恋愛感情を抱いてないから」の割合が男女ともに最も高く、「自分には別に恋人や好きな人がいるから」が続きます。

また、「告白して今の関係が壊れるのが嫌だから」や「恋人になると面倒だから」は女性より男性のほうが高い傾向です。男性のほうが恋愛に慎重な人が多いのかもしれませんが（図表8）。

図表8 恋人未満から恋人にまで発展しない理由
（恋人ではないが2人で会えるような仲の良い異性の友人がいる15～34歳の未婚者）



Ⅱ. 恋愛・男女交際へのスタンス

1. 恋愛・男女交際へのスタンス

～恋愛に積極派・恋愛に消極派（草食系）・恋愛に無関心派～

◎ 10代後半・20代前半の男性の7割が草食系（注）

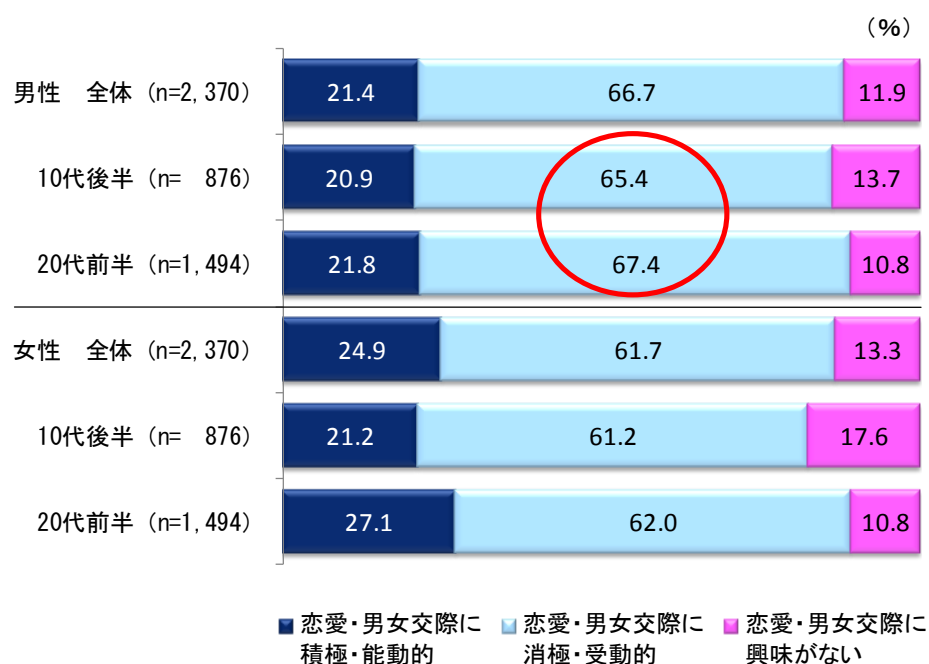
◎ 既婚者のほうが恋愛に積極派の割合が高い（既婚男性 53.4%・未婚男性 23.1%）

（注）本リリースでは「草食系」は本文中の「恋愛・男女交際に消極・受動的」を指します。

➤ 10代後半・20代前半の男性の7割が草食系

15～24歳の未婚者に対して、恋愛・男女交際へのスタンスをたずねたところ、10代後半・20代前半ともに男性は「恋愛・男女交際に消極・受動的」が約7割で、「恋愛・男女交際に興味がない」の約1割とあわせると、恋愛・男女交際に積極・能動的ではない男性が約8割となっています（図表9）。

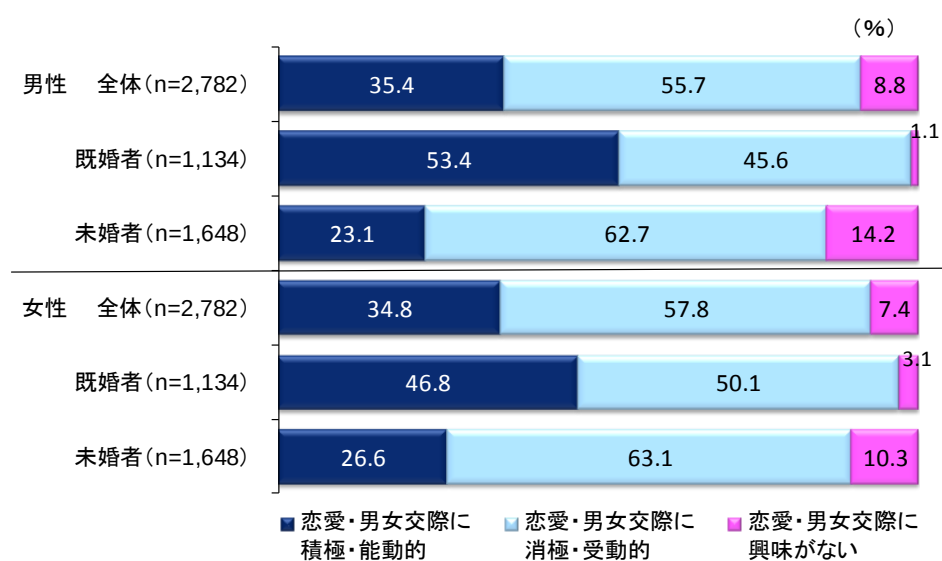
図表9 恋愛・男女交際へのスタンス（15～24歳の未婚者）



➤ **既婚者のほうが恋愛に積極派の割合が高い**

25～34 歳の男女に対して、自身の恋愛・男女交際へのスタンスを未婚別・既婚別にたずねたところ（既婚者は結婚前の意識について回答）、男性で「恋愛・男女交際に積極・能動的」の割合は、既婚者は 53.4% で未婚者の 23.1% より 30.3 ポイント高く、女性で「恋愛・男女交際に積極・能動的」の割合は、既婚者は 46.8% で未婚者の 26.6% より 20.2 ポイント高くなっています。特に男性で既婚者と未婚者の差は顕著です（図表 10）。

図表 10 恋愛・男女交際へのスタンス（25～34 歳：未婚別）



2. 働き方・年収と恋愛・男女交際へのスタンス

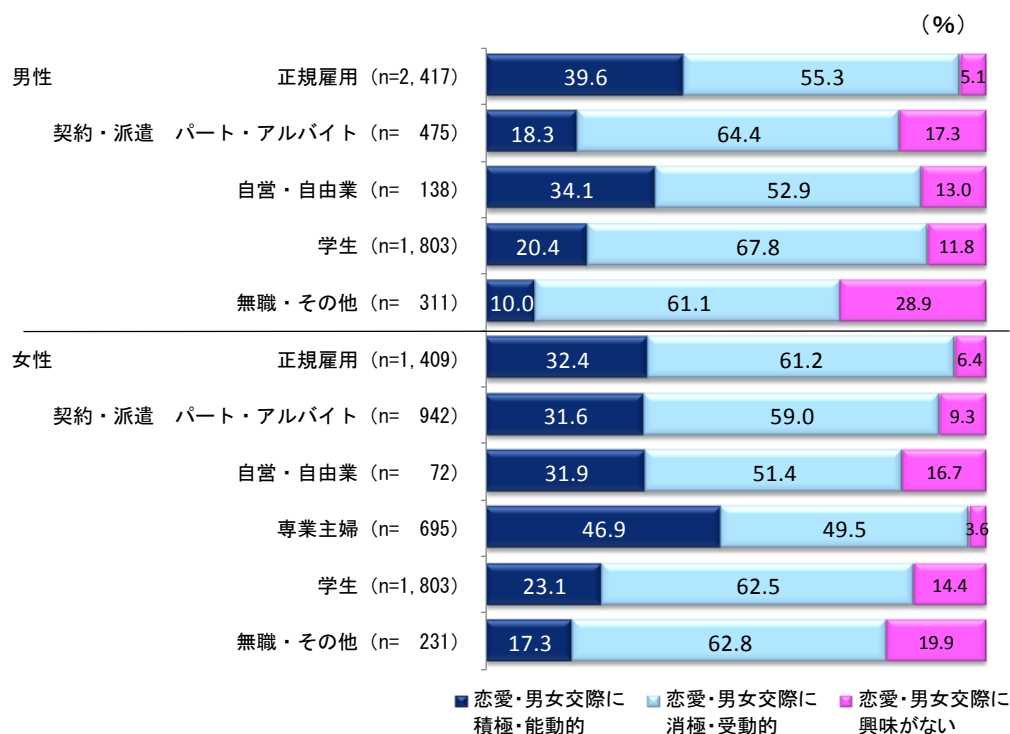
◎ 高年収の男性は恋愛・男女交際に積極的

◎ 恋愛に無関心派の女性6割が「長く働きたい」

➤ 働き方や就学状況で、恋愛・男女交際へのスタンスは異なる

現在の働き方や就学状況別に、恋愛・男女交際へのスタンスをたずねたところ（既婚者は結婚前の意識について回答）、男性の「正規雇用」「自営・自由業」と女性の「専業主婦」で「恋愛・男女交際に積極・能動的」の割合が高くなっています。一方で、「無職・その他」で「恋愛・男女交際に積極・能動的」の割合が低く、特に男性では「恋愛・男女交際に興味がない」の割合が28.9%と高くなっています（図表11）。

図表11 恋愛・男女交際へのスタンス（15～34歳：働き方・就学状況別）

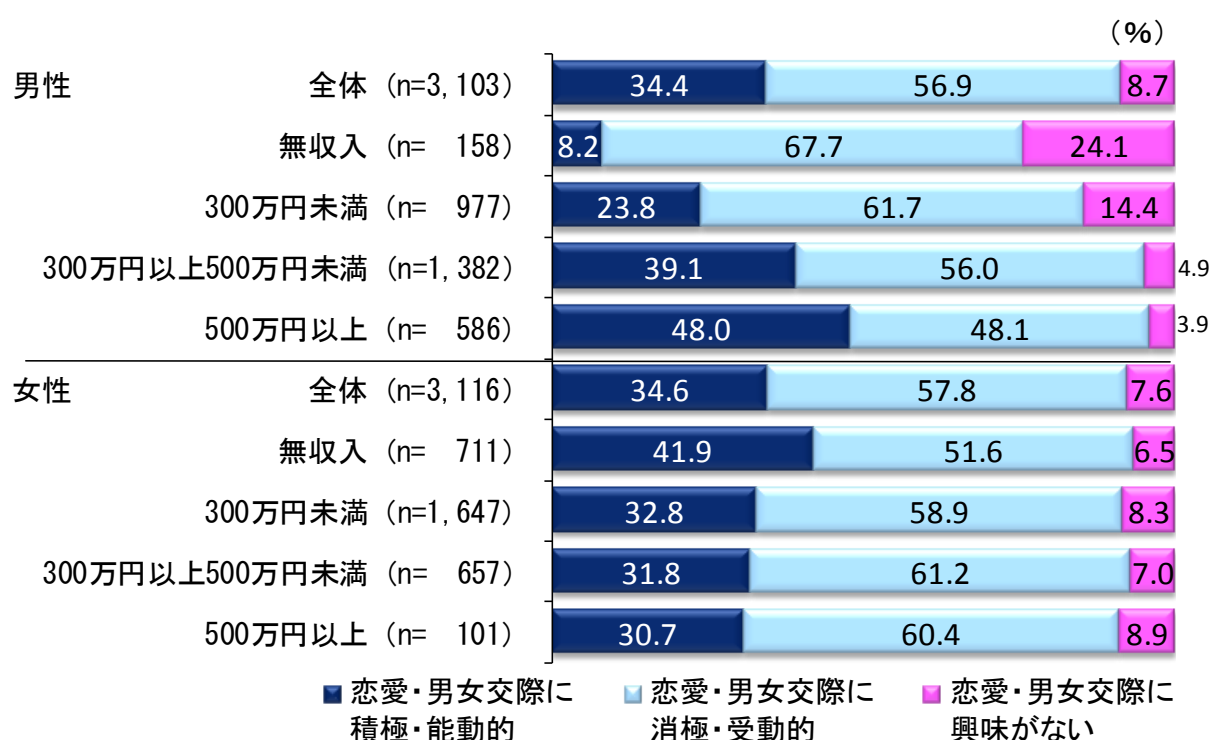


➤ **男性は年収が高いほど、恋愛・男女交際に積極的**

20～34歳の社会人に対して、恋愛・男女交際へのスタンスをたずねたところ（既婚者は結婚前の意識について回答）、男性の場合、年収が高いほど「恋愛・男女交際に積極・能動的」の割合が高く、「恋愛・男女交際に消極・受動的」と「恋愛・男女交際に興味がない」が低い傾向にあることがわかりました。

一方、女性の場合は「専業主婦」が含まれる無収入の場合に「恋愛・男女交際に積極・能動的」が41.9%となりましたが、その他の年収区分では大きな差は見られませんでした（図表12）。

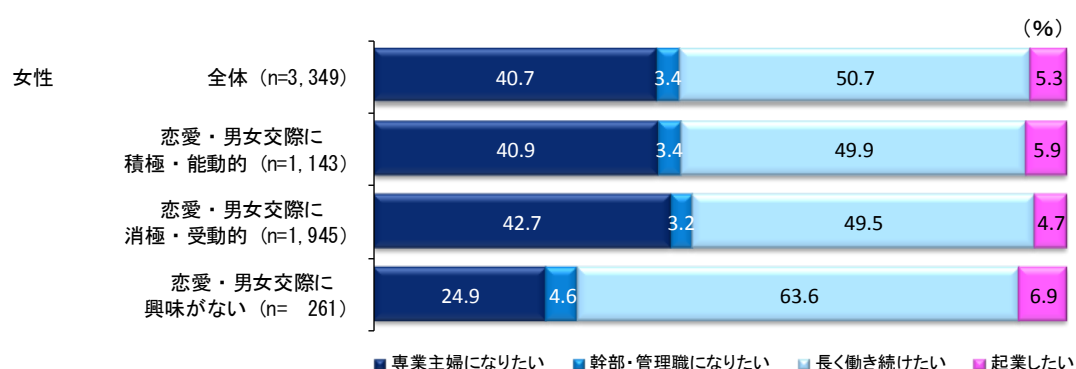
図表12 恋愛・男女交際へのスタンス（20～34歳の社会人：年収別）



➤ **恋愛に無関心派の女性6割が「長く働きたい」**

20～34歳の社会人女性に対して、今後のキャリア志向についてたずねたところ、「恋愛・男女交際に興味がない」女性のうち、63.6%が「長く働きたい」と回答し、「恋愛・男女交際に積極・能動的」「恋愛・男女交際に消極・受動的」な女性に比べて、仕事への意欲の高さがうかがえました（恋愛・男女交際へのスタンスについては、既婚者は結婚前の意識について回答）（図表13）。

図表13 女性のキャリア志向（20～34歳の社会人女性：恋愛・男女交際スタンス別）



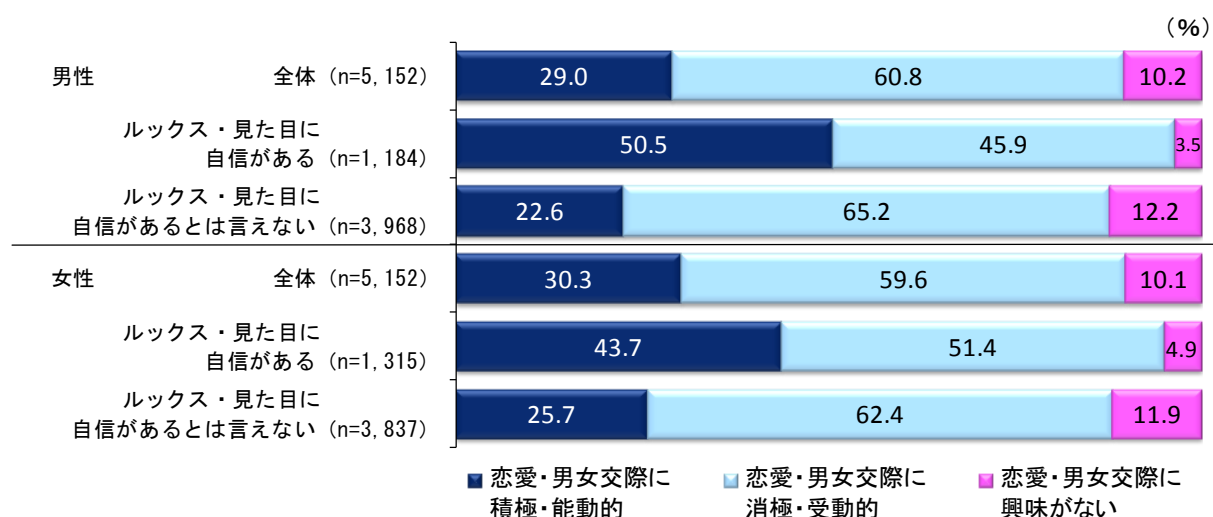
3. ルックス・経済力の自信と恋愛・男女交際へのスタンス

◎ ルックス・収入に自信のある人は恋愛・男女交際に積極的

➤ ルックス・見た目に自信がある男性の5割・女性の4割が恋愛・男女交際に積極・能動的

恋愛・男女交際へのスタンスをたずねたところ、男性の「恋愛・男女交際に積極・能動的」の割合は、「ルックス・見た目に自信がある」人が50.5%で、「ルックス・見た目に自信があるとは言えない」人の22.6%より27.9ポイント高くなっています（既婚者は結婚前の意識について回答）。また、女性の「恋愛・男女交際に積極・能動的」の割合は、「ルックス・見た目に自信がある」人が43.7%で「ルックス・見た目に自信があるとは言えない」人の25.7%より18.0ポイント高くなっています。ルックス・見た目に自信がある人ほど恋愛・男女交際に積極的な人が多いようです（図表14）。

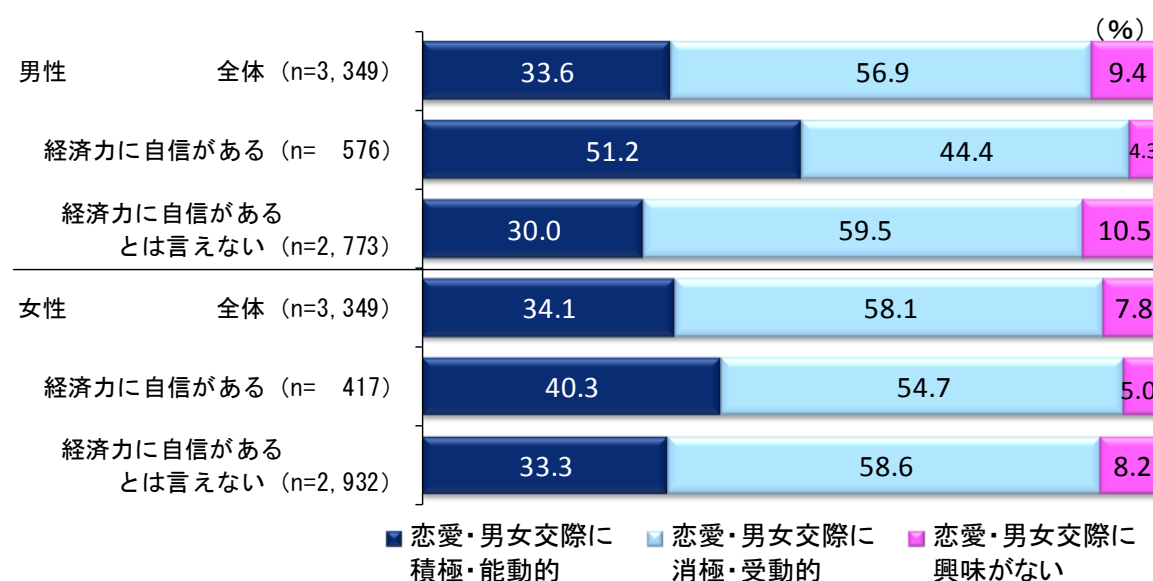
図表14 恋愛・男女交際へのスタンス（15～34歳：ルックス・見た目に自信があるか否か別）



➤ 収入などの経済力への自信と恋愛・男女交際へのスタンス

20～34歳の社会人に、恋愛・男女交際へのスタンスをたずねたところ、男性の「恋愛・男女交際に積極・能動的」の割合は、「経済力に自信がある」人が51.2%で「経済力に自信があるとは言えない」人の30.0%より21.2ポイント高くなっています（既婚者は結婚前の意識について回答）。また、女性の「恋愛・男女交際に積極・能動的」の割合は、「経済力に自信がある」人が40.3%で「経済力に自信があるとは言えない」人の33.3%より7.0ポイント高くなっています。特に男性は経済力に自信がある人ほど恋愛・男女交際に積極的な人が多いようです（図表15）。

図表15 恋愛・男女交際へのスタンス（20～34歳の社会人：経済力に自信があるか否か別）



4. 思考・行動のスタイル、他人との距離感と恋愛・男女交際へのスタンス

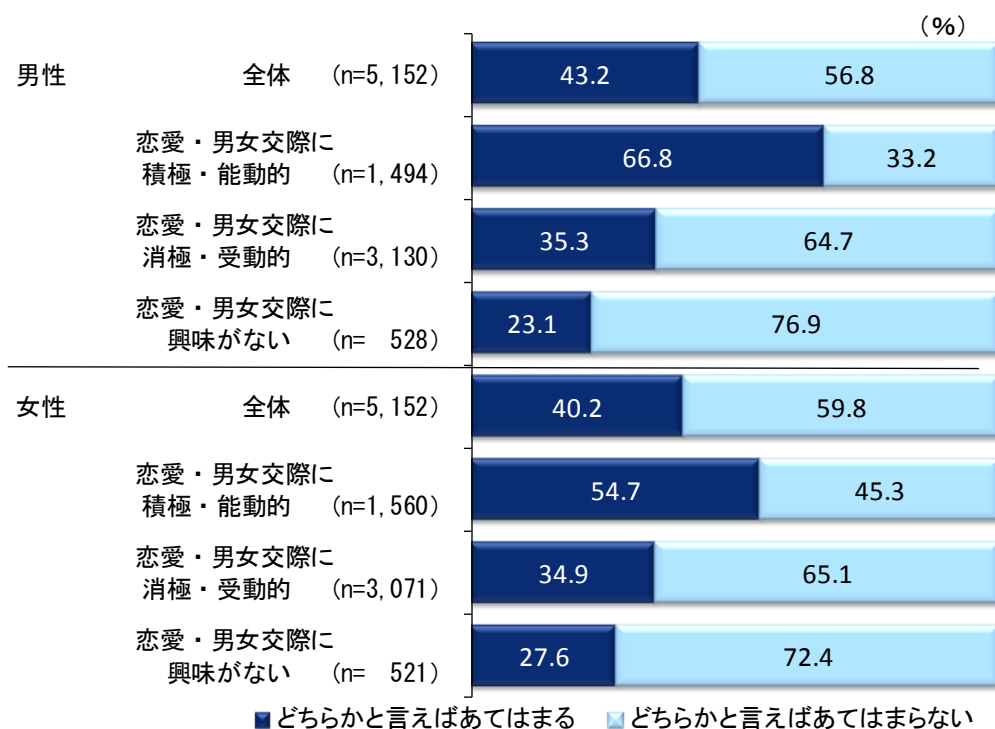
- ◎ 恋愛に積極派の男性 7 割・女性 5 割がポジティブ思考・積極行動派
- ◎ 恋愛に積極派男女の 6 割は生活に満足
- ◎ 草食系^(注)の男性 4 割が「自分 1 人のときが一番心地よい」

(注) 本リリースでは「草食系」は本文中の「恋愛・男女交際に消極・受動的」を指します。

➤ 恋愛に積極派にはポジティブ思考・積極行動派が多い

物事をポジティブに考えて積極的に行動するほうかをたずねたところ、「どちらかと言えばあてはまる」と回答した割合が、男性の場合、「恋愛・男女交際に積極・能動的」66.8%・「恋愛・男女交際に消極・受動的」35.3%・「恋愛・男女交際に興味がない」23.1%であり、女性の場合「恋愛・男女交際に積極・能動的」54.7%・「恋愛・男女交際に消極・受動的」34.9%・「恋愛・男女交際に興味がない」27.6%となりました（既婚者は結婚前の意識について回答）（図表 16）。

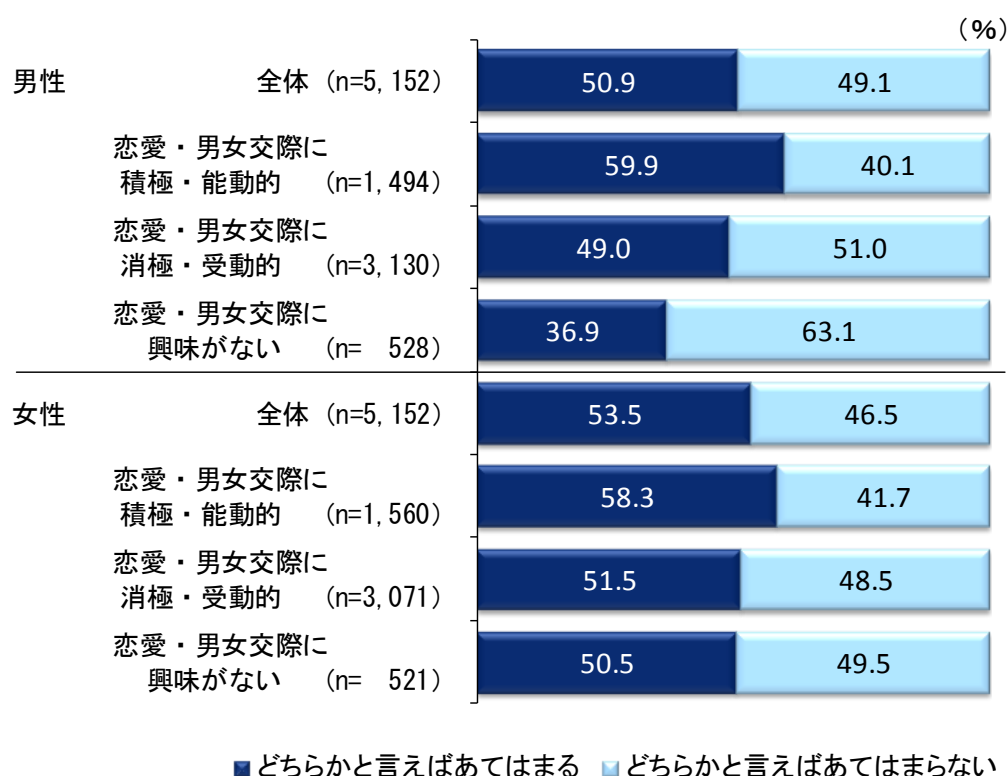
図表 16 ポジティブ思考・積極行動派か（15～34 歳：恋愛・男女交際スタンス別）



➤ 恋愛に積極派は生活満足度が高い

生活に満足しているかをたずねたところ、「どちらかと言えばあてはまる」の割合は、男性の場合、「恋愛・男女交際に積極・能動的」59.9%・「恋愛・男女交際に消極・受動的」49.0%・「恋愛・男女交際に興味がない」36.9%、女性の場合、「恋愛・男女交際に積極・能動的」58.3%・「恋愛・男女交際に消極・受動的」51.5%・「恋愛・男女交際に興味がない」50.5%となりました（既婚者は結婚前の意識について回答）。恋愛・男女交際に積極的な人のほうが、生活に満足している割合が高いようです（図表17）。

図表17 生活に満足しているか（15～34歳：恋愛・男女交際スタンス別）

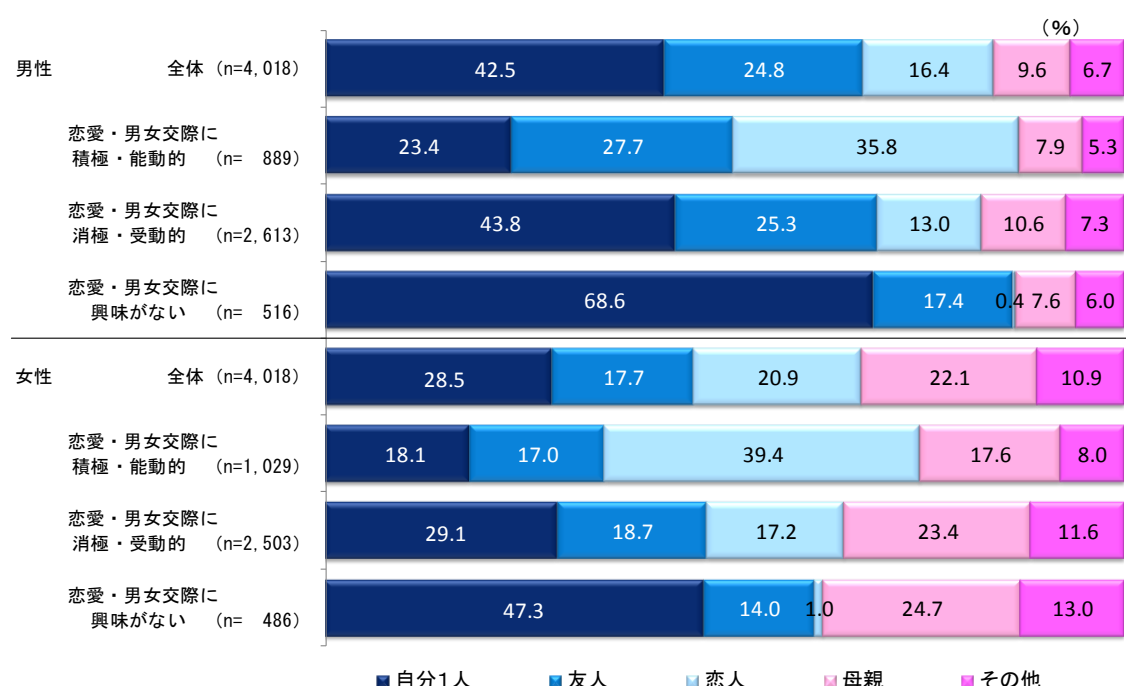


➤ **恋愛・男女交際に消極的・興味がない人は、「自分1人の時間が一番心地よい」が多い**

誰といるときの時間が一番心地よいと感じるかをたずねたところ、「自分1人」が一番心地よいと感じる人の割合は、男性の場合、「恋愛・男女交際に積極・能動的」23.4%・「恋愛・男女交際に消極・受動的」43.8%・「恋愛・男女交際に興味がない」68.6%、女性の場合、「恋愛・男女交際に積極・能動的」18.1%・「恋愛・男女交際に消極・受動的」29.1%・「恋愛・男女交際に興味がない」47.3%となり、差が見られました。恋愛・男女交際に対して、消極・受動的であったり、興味がない人ほど、自分1人の時間を好む傾向にあることがうかがえます。自分1人の時間が心地よく、男女交際に積極的になれない人が多いのかもしれません。

恋愛・男女交際に積極・能動的な男女はともに約4割（男性35.8%・女性39.4%）が恋人といるときの時間が一番心地よいと感じています。男性は「友人」27.7%、「自分1人」23.4%と続きますが、女性では「自分1人」18.1%、「母親」17.6%と続きます。女性にとって、一緒にいて心地よい「母親」の存在は「恋愛・男女交際に消極・受動的」・「恋愛・男女交際に興味がない」ではさらに大きくなっています（「恋愛・男女交際に消極・受動的」23.4%・「恋愛・男女交際に興味がない」24.7%）（図表18）。

図表18 誰といるときの時間が一番心地よいと感じるか
（15～34歳の未婚者：恋愛・男女交際スタンス別）



Ⅲ. 恋愛・男女交際の実態 ～草食系を中心に～

1. 草食系と異性の友人の有無

◎ 異性の友人が多くいる草食系（注）は2割

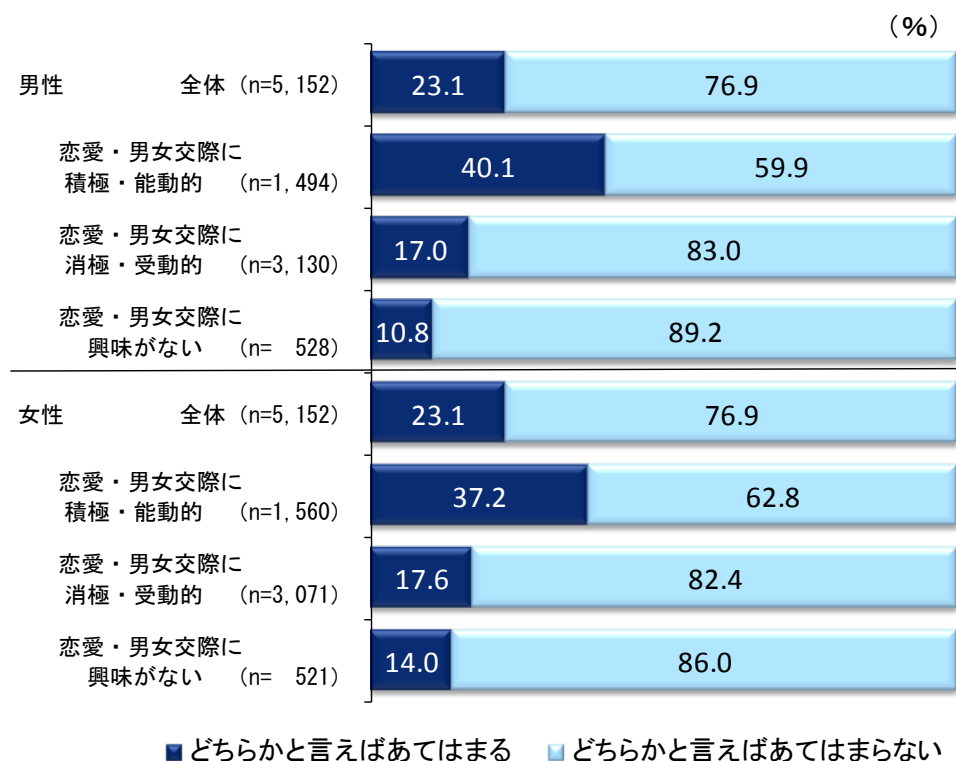
◎ 仲の良い恋人未満の異性がいるのは草食系で3人に1人

（注）本リリースでは「草食系」は本文中の「恋愛・男女交際に消極・受動的」を指します。

➤ 恋愛・男女交際に積極的な人ほど、異性の友人も多い

異性の友人は多いほうかたずねたところ、男女とも恋愛・男女交際に積極的な人ほど、異性の友人が多いようです。「どちらかと言えばあてはまる」と回答した割合は、男性で「恋愛・男女交際に積極・能動的」40.1%・「恋愛・男女交際に消極・受動的」17.0%・「恋愛・男女交際に興味がない」10.8%、女性で「恋愛・男女交際に積極・能動的」37.2%・「恋愛・男女交際に消極・受動的」17.6%・「恋愛・男女交際に興味がない」14.0%となりました（既婚者は結婚前の意識について回答）。恋愛・男女交際に消極・受動的な男女でも約2割が「どちらかと言えばあてはまる」と回答しています（図表19）。

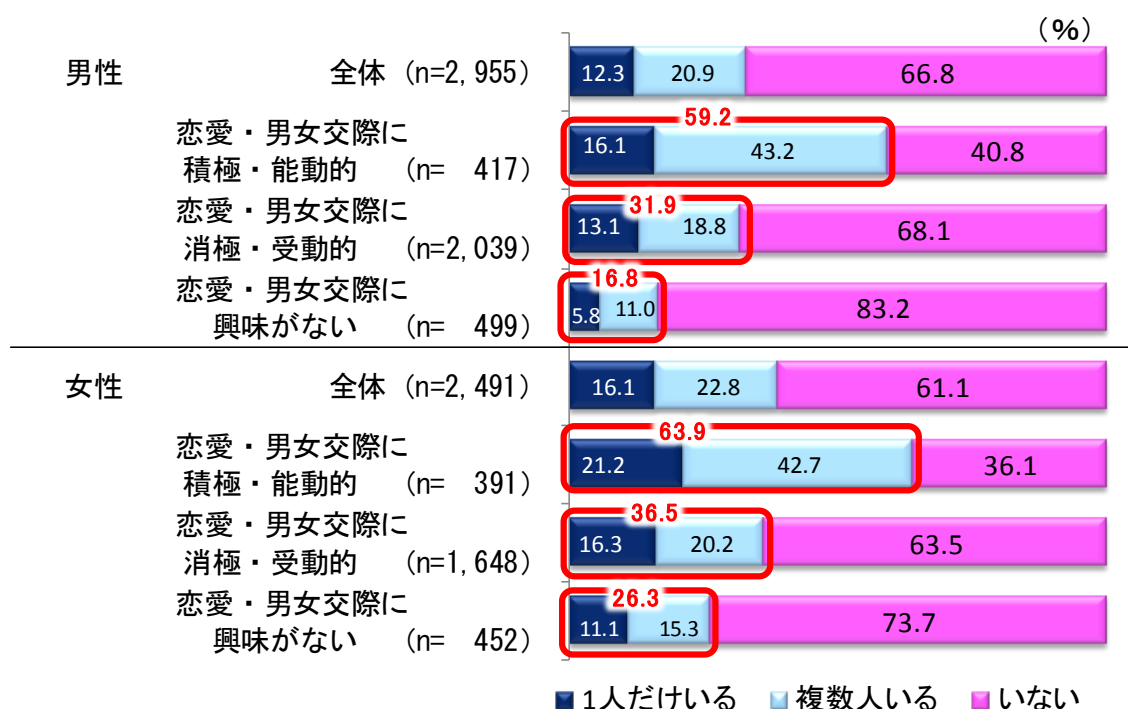
図表19 異性の友人が多いほうだ（15～34歳：恋愛・男女交際スタンス別）



➤ 2人で会えるような仲の良い異性の友人はどれだけいるか

現在恋人がいない未婚者に対して、恋人ではないが2人で会えるような仲の良い異性の友人はいるかたずねたところ、「いる」（「1人だけいる」＋「複数人いる」）と回答した男性は「恋愛・男女交際に積極・能動的」59.2%・「恋愛・男女交際に消極・受動的」31.9%・「恋愛・男女交際に興味がない」16.8%、女性は「恋愛・男女交際に積極・能動的」63.9%・「恋愛・男女交際に消極・受動的」36.5%・「恋愛・男女交際に興味がない」26.3%となっています。男女ともに、恋愛・男女交際に積極的な人のほうが仲の良い異性の友人もいることはもちろん、たとえ「恋愛・男女交際に消極・受動的」であっても、男女とも約3人に1人は、2人で会える仲の良い異性の友人がいるようです（図表20）。

図表20 恋人ではないが2人で会える仲の良い異性の友人はいるか
（恋人がいない15～34歳の未婚者：恋愛・男女交際スタンス別）



2. 草食系の本音

◎ 草食系（注）の男性 7 割が自分の恋愛・男女交際の現状を「情けない・嫌だ」

◎ 草食系（注）の男性 7 割・女性 8 割が「恋人がいる友人をうらやましく思う」

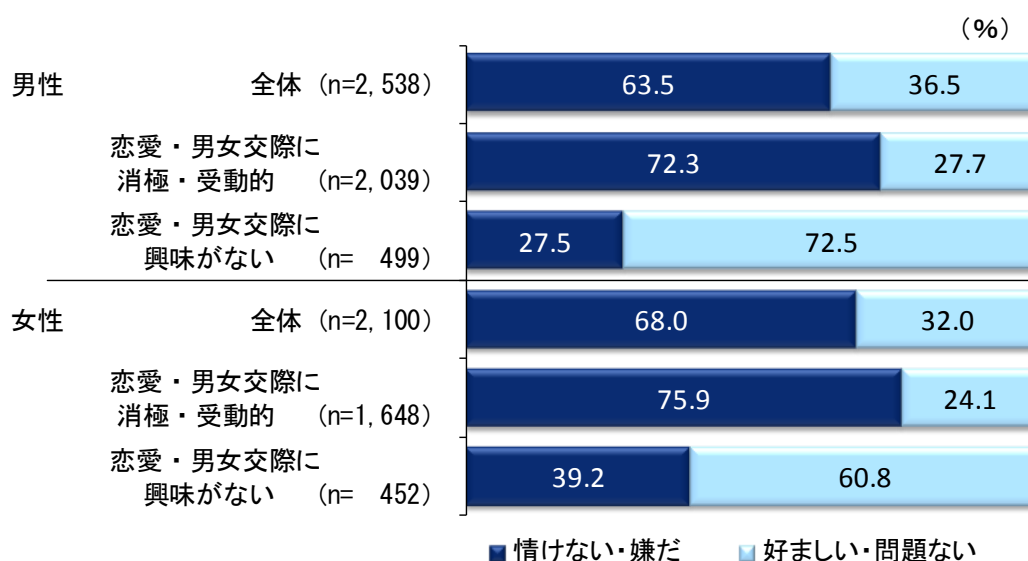
（注）本リリースでは「草食系」は本文中の「恋愛・男女交際に消極・受動的」を指します。

➤ 草食系の男性 7 割が自分の恋愛・男女交際の現状に「情けない・嫌だ」

現在恋人がいない未婚者で「恋愛・男女交際に消極・受動的」「恋愛・男女交際に興味がない」人に対して、恋愛・男女交際に関する自身の現状をどう考えるかたずねたところ、「情けない・嫌だ」と思うのは、恋愛・男女交際に消極・受動的な男性で 72.3%と、恋愛・男女交際に興味がない男性の 27.5%より 44.8 ポイント高くなっています。女性も同様に恋愛・男女交際に消極・受動的な女性は 75.9%で、恋愛・男女交際に興味がない女性の 39.2%より 36.7 ポイント高くなっています（図表 21）。

恋愛・男女交際に消極・受動的な人の中では、男女交際における自分の現状を否定的に捉えている人が多いようです。

図表21 自分の恋愛・男女交際の現状をどう思うか（恋人がいない15～34歳で「恋愛・男女交際に消極・受動的」「恋愛・男女交際に興味がない」未婚者：恋愛・男女交際スタンス別）

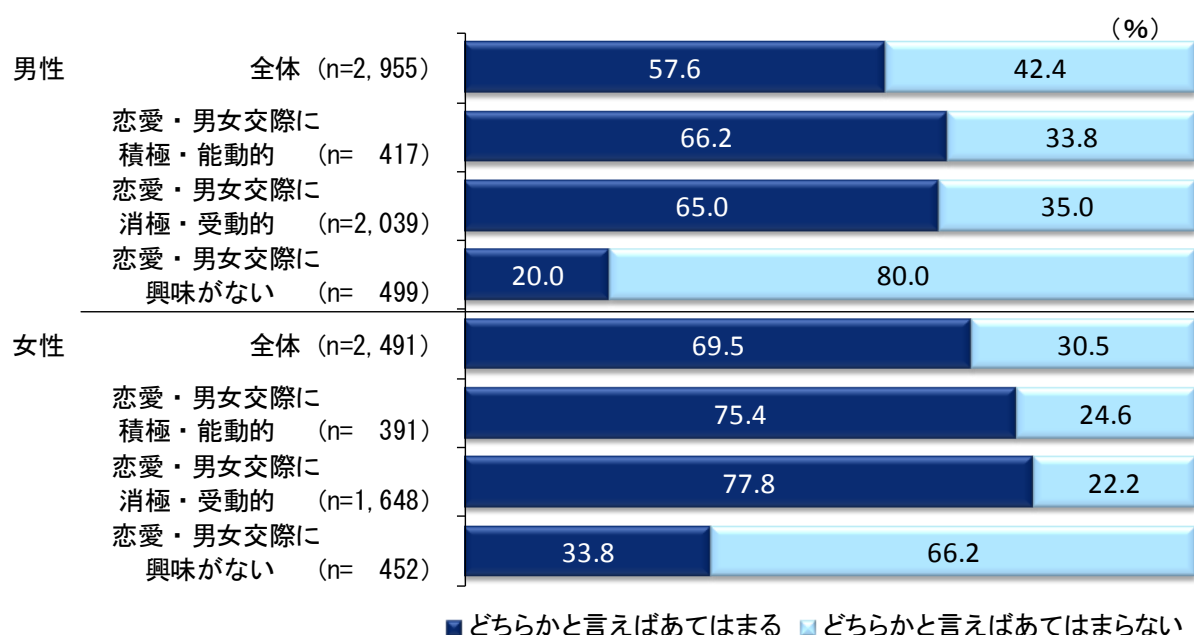


➤ 草食系の男性7割・女性8割が「恋人がいる友人をうらやましく思う」

現在恋人がいない未婚者に対して、恋人がいる友人をうらやましく思うかたずねたところ、「どちらかと言えばあてはまる」と回答した割合は、男性で「恋愛・男女交際に積極・能動的」66.2%・「恋愛・男女交際に消極・受動的」65.0%・「恋愛・男女交際に興味がない」20.0%、女性では「恋愛・男女交際に積極・能動的」75.4%・「恋愛・男女交際に消極・受動的」77.8%・「恋愛・男女交際に興味がない」33.8%となっています。

恋人がいる友人をうらやましく思う割合は、「恋愛・男女交際に消極・受動的」な人であっても、「恋愛・男女交際に積極・能動的」な人と同水準にあることがうかがえます。一方、「恋愛・男女交際に興味がない」人では、「どちらかと言えばあてはまる」割合は相対的に低く、男性の場合20.0%で「恋愛・男女交際に消極・受動的」な人の65.0%より45.0ポイント低くなっています（図表22）。「恋愛・男女交際に消極・受動的」な人については、交際への気持ちはあるものの、なかなか行動に移せない人も多いようです。

図表22 恋人がいる友人をうらやましく思うか
(恋人がいない15～34歳の未婚者：恋愛・男女交際スタンス別)



3. 恋人との交際経験と出会うための活動

◎ 恋人との交際経験がない草食系（注）は男性4割・女性3割

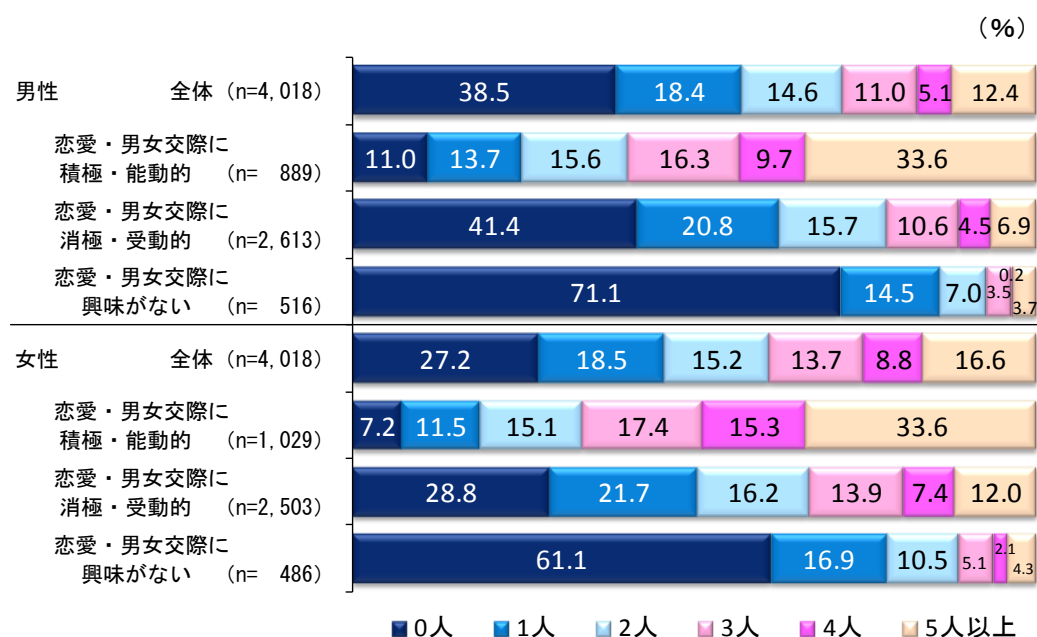
◎ 今、恋人がいなくても「欲しい」と思う草食系（注）は男性7割・女性8割

（注）本リリースでは「草食系」は本文中の「恋愛・男女交際に消極・受動的」を指します。

➤ 恋人との交際経験がない草食系は男性4割・女性3割

未婚者に対して、中学生以降の交際経験をたずねたところ、「0人」と回答した割合は、男性で「恋愛・男女交際に積極・能動的」11.0%・「恋愛・男女交際に消極・受動的」41.4%・「恋愛・男女交際に興味がない」71.1%、女性で「恋愛・男女交際に積極・能動的」7.2%・「恋愛・男女交際に消極・受動的」28.8%・「恋愛・男女交際に興味がない」61.1%となっています。男女ともに恋愛・男女交際に積極的な人ほど、交際を経験した人数も多いことがわかります（図表23）。

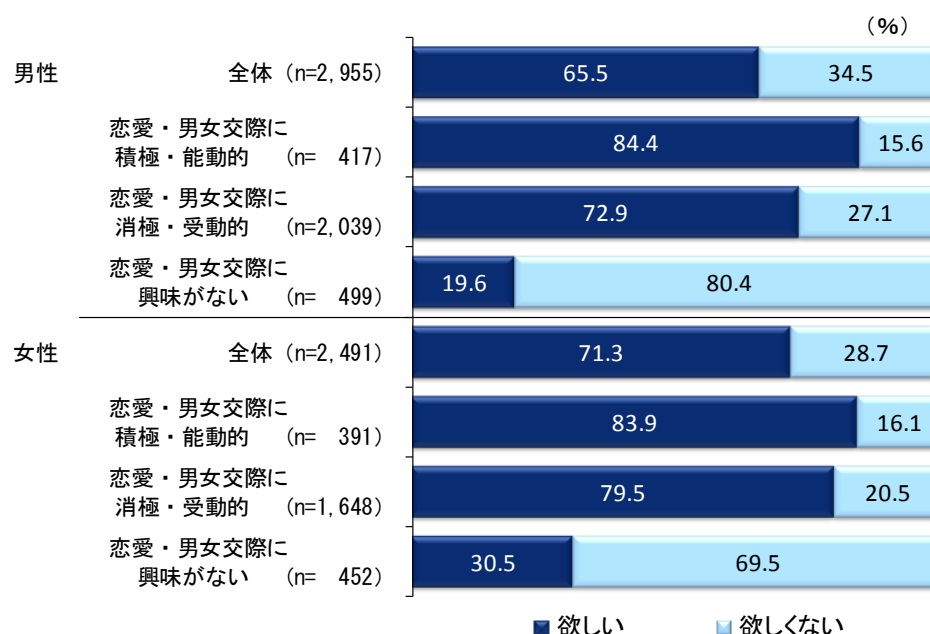
図表23 これまで何人の恋人との交際経験があるか
（15～34歳の未婚者：恋愛・男女交際スタンス別）



➤ **恋人のいない草食系の男性 7 割・女性 8 割が「恋人が欲しい」**

現在恋人がいない未婚者に対して、恋人が欲しいかたずねたところ、「欲しい」と回答したのは、男性で「恋愛・男女交際に積極・能動的」84.4%・「恋愛・男女交際に消極・受動的」72.9%、女性で「恋愛・男女交際に積極・能動的」83.9%・「恋愛・男女交際に消極・受動的」79.5%となっています。一方、「恋愛・男女交際に興味がない」では男性19.6%・女性30.5%とかなり低くなっています（図表24）。

図表24 現在、恋人は欲しいか（恋人がいない15～34歳の未婚者：恋愛・男女交際スタンス別）



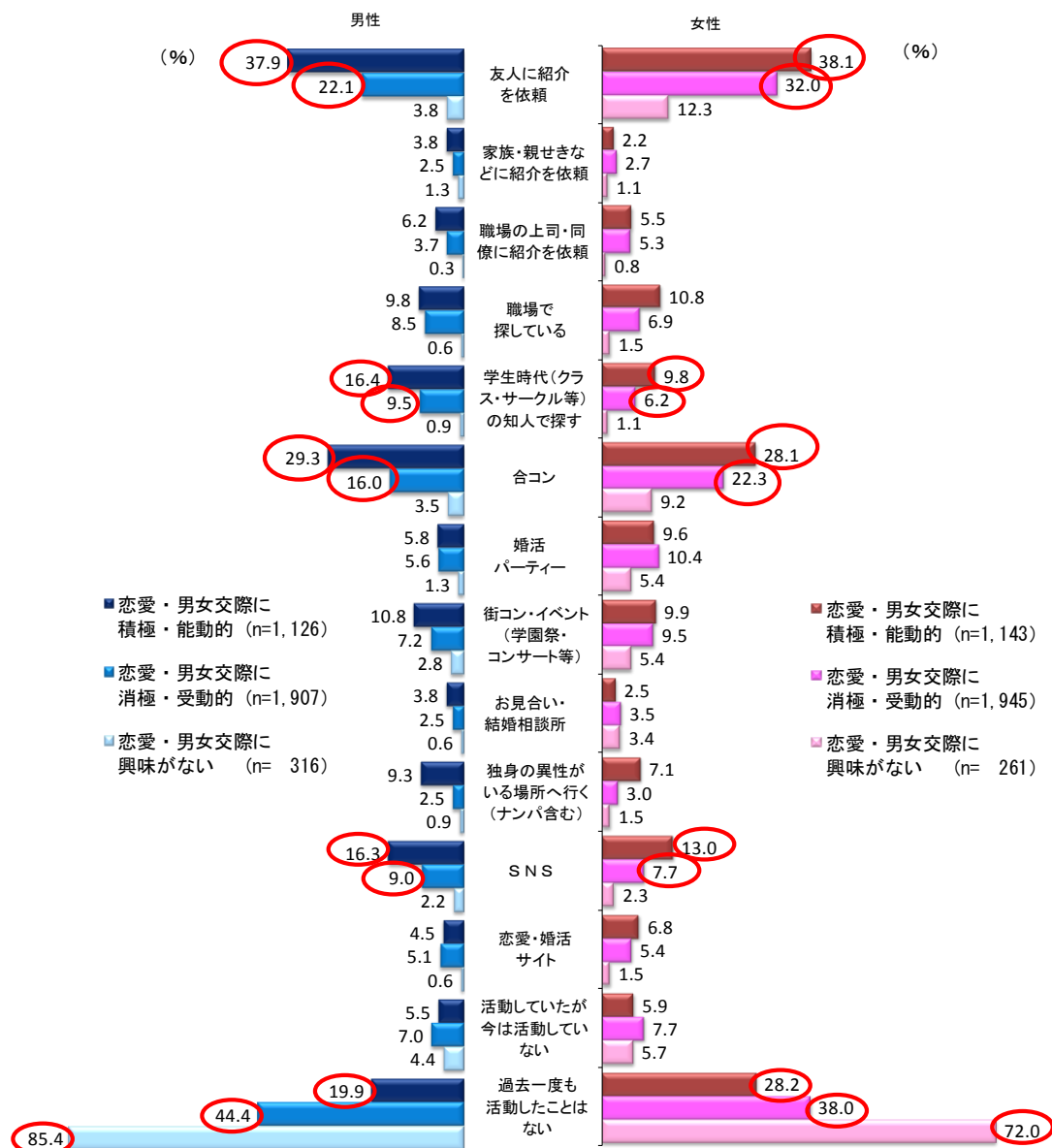
➤ **恋人や結婚相手と出会うための活動**

20～34歳の社会人に対して、恋人や結婚相手と出会うために、どのような活動をしているか（していたか）をたずねたところ、「過去一度も活動したことはない」と回答した割合は、男性で「恋愛・男女交際に積極・能動的」19.9%・「恋愛・男女交際に消極・受動的」44.4%・「恋愛・男女交際に興味がない」85.4%、女性で「恋愛・男女交際に積極・能動的」28.2%・「恋愛・男女交際に消極・受動的」38.0%・「恋愛・男女交際に興味がない」72.0%となっています。「恋愛・男女交際に興味がない」男女の7～8割は、恋人や結婚相手と出会う活動の経験がありませんでした。

「恋愛・男女交際に積極・能動的」・「恋愛・男女交際に消極・受動的」の人の活動内容としては、「友人に紹介を依頼」「合コン」「学生時代（クラス・サークル等）の知人で探す」「SNS」が多いようです（図表25）。

図表25 恋人や結婚相手と出会うために、どのような活動をしているか（していたか）

（20～34歳の社会人：複数回答：恋愛・男女交際スタンス別）



4. どんな人と交際する？

◎ 4人に1人は結婚相手として本命ではない異性をキープした経験あり

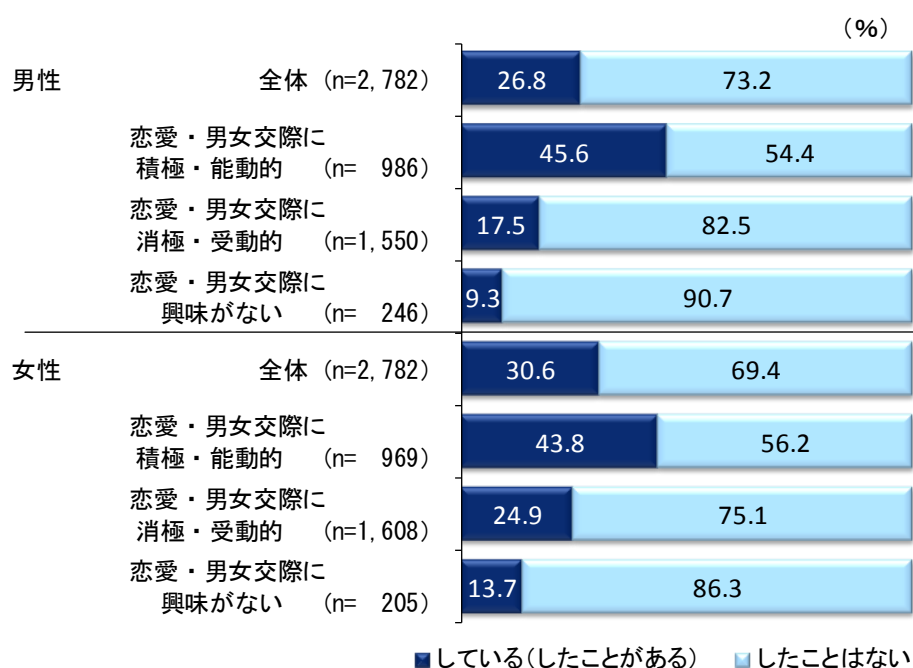
◎ 結婚したい人しか交際しないアラサー草食系（注）は、男性 19.6%・女性 17.4%

（注）本リリースでは「アラサー」は「20代後半」および「30代前半」を指し、「草食系」は本文中の「恋愛・男女交際に消極・受動的」を指します。

➤ 本命ではない異性との交友関係

25～34歳の男女に対して、結婚相手として本命ではない異性と交友関係を維持（キープ）している・したことがあるかをたずねたところ、「している（したことがある）」と回答した割合は、男性で「恋愛・男女交際に積極・能動的」45.6%・「恋愛・男女交際に消極・受動的」17.5%・「恋愛・男女交際に興味がない」9.3%、女性で「恋愛・男女交際に積極・能動的」43.8%・「恋愛・男女交際に消極・受動的」24.9%・「恋愛・男女交際に興味がない」13.7%となっています（既婚者は結婚前の意識について回答）（図表26）。

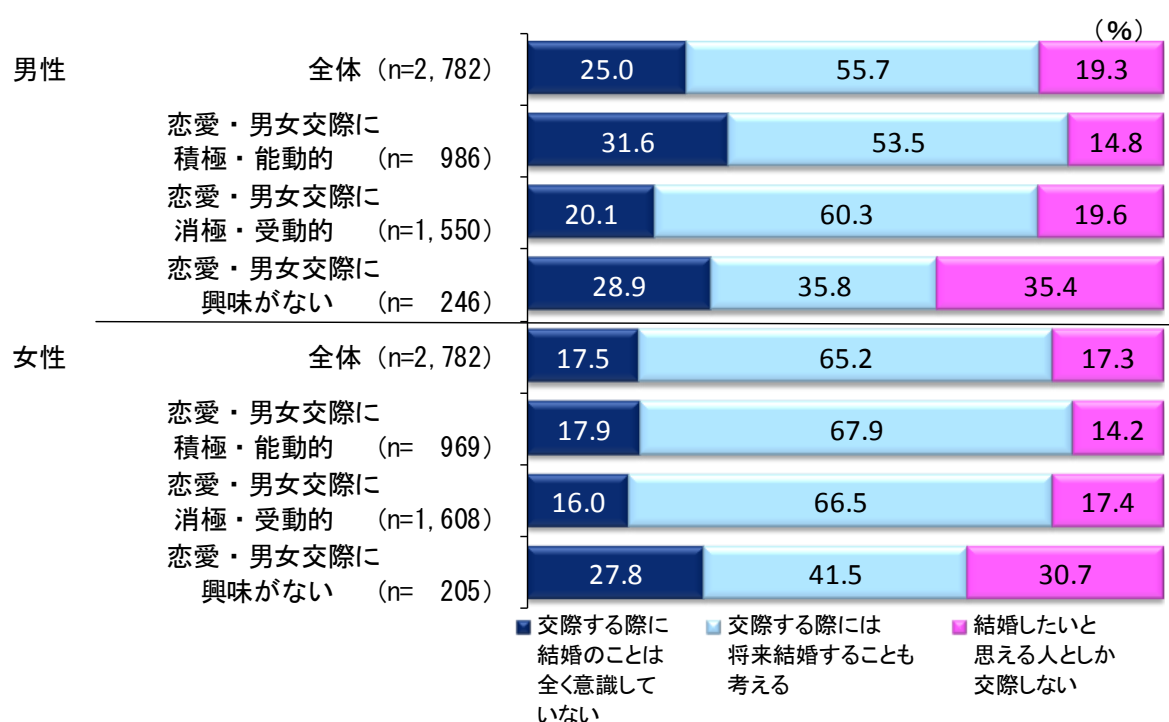
図表26 結婚相手として本命ではない異性と交友関係を維持（キープ）している・したことはあるか（25～34歳：恋愛・男女交際スタンス別）



➤ **結婚したいと思える人としか交際しないアラサー草食系は2割**

25～34歳の男女に対して、交際と結婚の関係をどのように考えるかたずねたところ、「結婚したいと思える人としか交際しない」割合は「恋愛・男女交際に消極・受動的」の男女ともに約2割（男性19.6%・女性17.4%）ですが、「恋愛・男女交際に興味がない」については相対的に高く、男性35.4%・女性30.7%となっています（恋愛・男女交際へのスタンスについては、既婚者は結婚前の意識について回答）（図表27）。

図表27 交際と結婚の関係をどのように考えているか（25～34歳：恋愛・男女交際スタンス別）



Ⅳ. 中学生・高校生の頃の環境と恋愛・男女交際への意識

1. 友人との関わりと男女交際

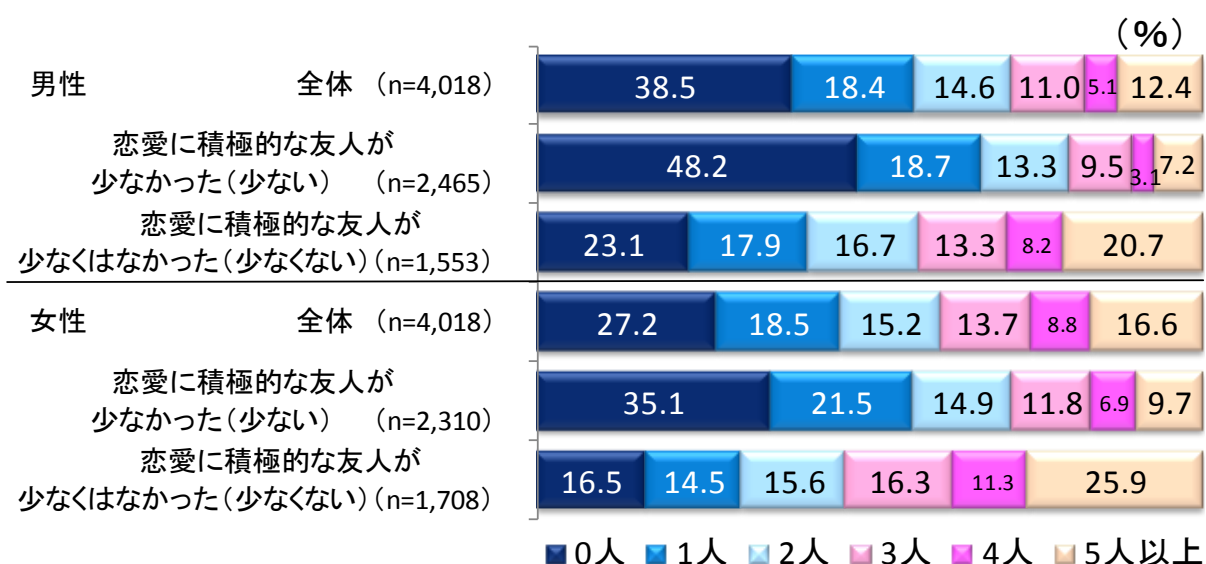
- ◎ 恋愛に積極的な友人が身近に少なかった男性の5割は、恋人との交際経験がない
- ◎ 1人遊びが多かった男性は、仲の良い恋人未満の異性も恋人もできにくい！？
- ◎ 1人遊び派の男性の81.3%が恋愛に消極的、または興味がない

➤ 交際した恋人の人数

未婚者に対して、中学生以降の交際経験をたずねたところ、中高生の頃に恋愛に積極的な友人が身近に「少なかった（少ない）」男性の48.2%・女性の35.1%は交際経験が全くない一方、「少なくはなかった（少なくない）」人で交際経験が全くない割合は、男性23.1%・女性16.5%にとどまっています（図表28）。

図表28 中学生以降、これまで何人の恋人との交際経験があるか

（15～34歳の未婚者：中高生の頃に恋愛に積極的な友人が身近に少なかったか否か別）



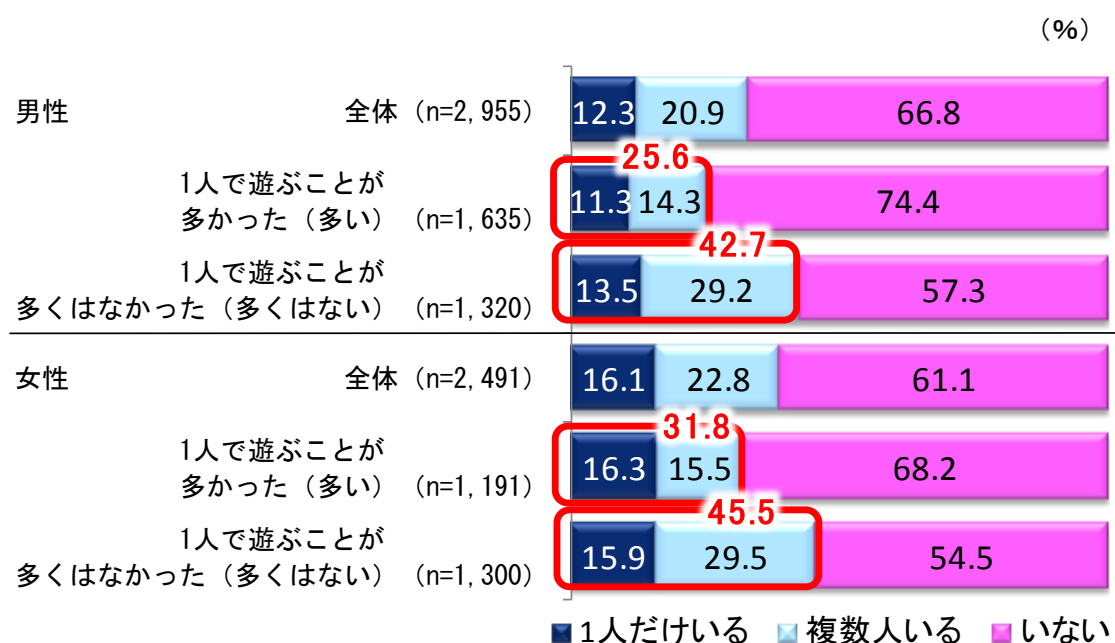
➤ 2人で会えるような仲の良い異性の有無

現在恋人がいない未婚者に対して、2人で会える仲の良い異性の友人はいるかたずねたところ、「いる」（「1人だけいる」＋「複数人いる」）割合は、男性で中高生の頃に「1人で遊ぶことが多かった（多い）」人は25.6%で、「1人で遊ぶことが多くはなかった（多くはない）」人の42.7%より17.1ポイント低くなっています。また、女性でも中高生の頃に「1人で遊ぶことが多かった（多い）」人は31.8%で「1人で遊ぶことが多くはなかった（多くはない）」人の45.5%より13.7ポイント低くなっています。

中高生の頃に1人で遊ぶことが多かった人ほど、2人で会える仲の良い異性の友人がいる割合が低くなっています（図表29）。

図表29 恋人ではないが2人で会える仲の良い異性の友人はいるか

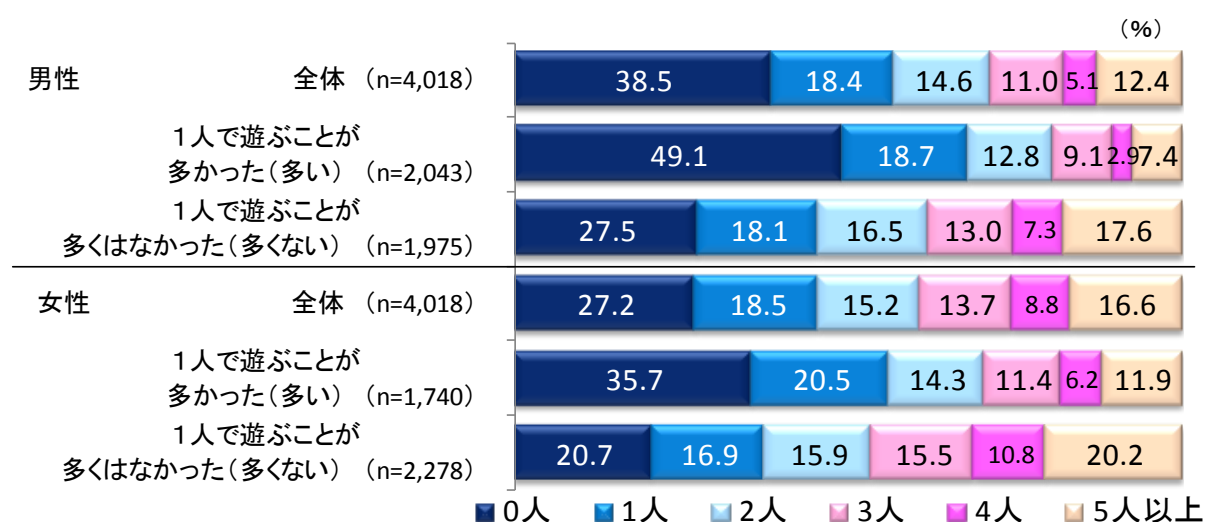
（恋人がいない15～34歳の未婚者：中高生の頃に1人で遊ぶことが多かったか否か別）



➤ 交際した恋人の人数

未婚者に対して、中学生以降、これまでの恋人との交際経験をたずねたところ、男女とも中高生の頃に友人と遊ぶよりも「1人で遊ぶことが多かった(多い)」と回答した人は、そうでない人より、恋人との交際経験がない割合が高い傾向にあることがわかりました。友人との交流における積極性も、男女交際の現状に影響している様子が見えます(図表30)。

図表30 中学生以降、これまで何人の恋人との交際経験があるか
(15～34歳の未婚者：中高生の頃に1人で遊ぶことが多かったか否か別)

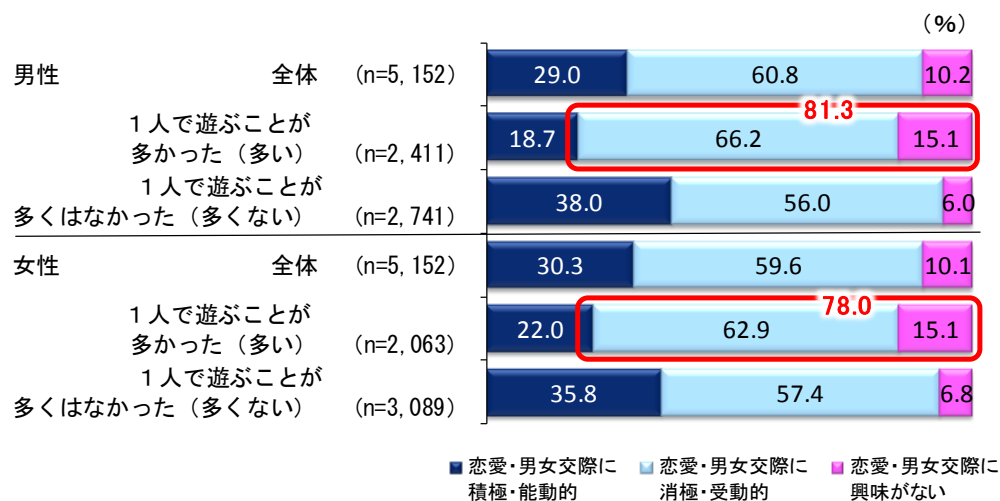


➤ 1人で遊ぶことが多かった人のほうが、恋愛に消極的、または興味がない傾向

恋愛・男女交際へのスタンスをたずねたところ（既婚者は結婚前の意識について回答）、中高生の頃に「1人で遊ぶことが多かった（多い）」人は、男女とも「恋愛・男女交際に消極・受動的」と「恋愛・男女交際に興味がない」の合計の割合が高くなっています（男性 81.3%・女性 78.0%）（図表 31）。

図表31 恋愛・男女交際へのスタンス

（15～34 歳：中高生の頃に1人で遊ぶことが多かったか否か別）



2. 失敗を避けることを重視した育てられ方と恋愛・男女交際への意識

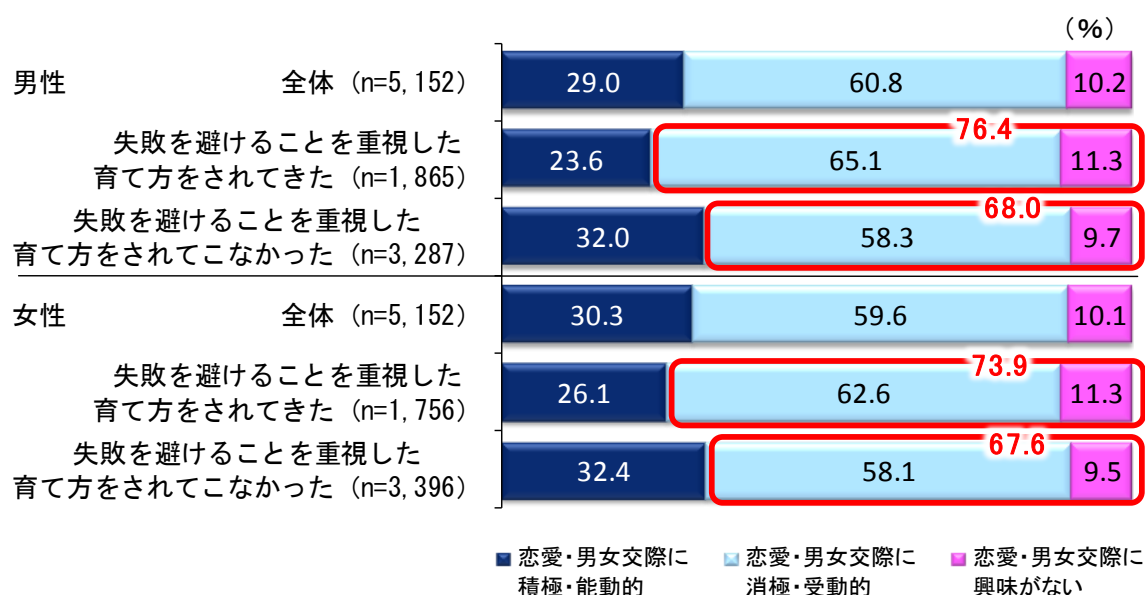
◎ 失敗を避けることを重視して育てられると、恋愛にも消極的、または興味がない傾向に！？

➤ 失敗を避けることを重視して育てられると、恋愛にも消極的、または興味がない傾向に！？

恋愛・男女交際へのスタンスをたずねたところ（既婚者は結婚前の意識について回答）、男女とも中高生の頃に「失敗を避けることを重視した育て方をされてきた」人は「恋愛・男女交際に消極・受動的」と「恋愛・男女交際に興味がない」の合計が男性 76.4%・女性 73.9%で、「失敗を避けることを重視した育て方をされてこなかった」人（男性 68.0%・女性 67.6%）に比べて高くなっています（図表 32）。

図表32 恋愛・男女交際へのスタンス

（15～34 歳：中高生の頃に失敗を避けることを重視した育て方をされてきたか否か別）



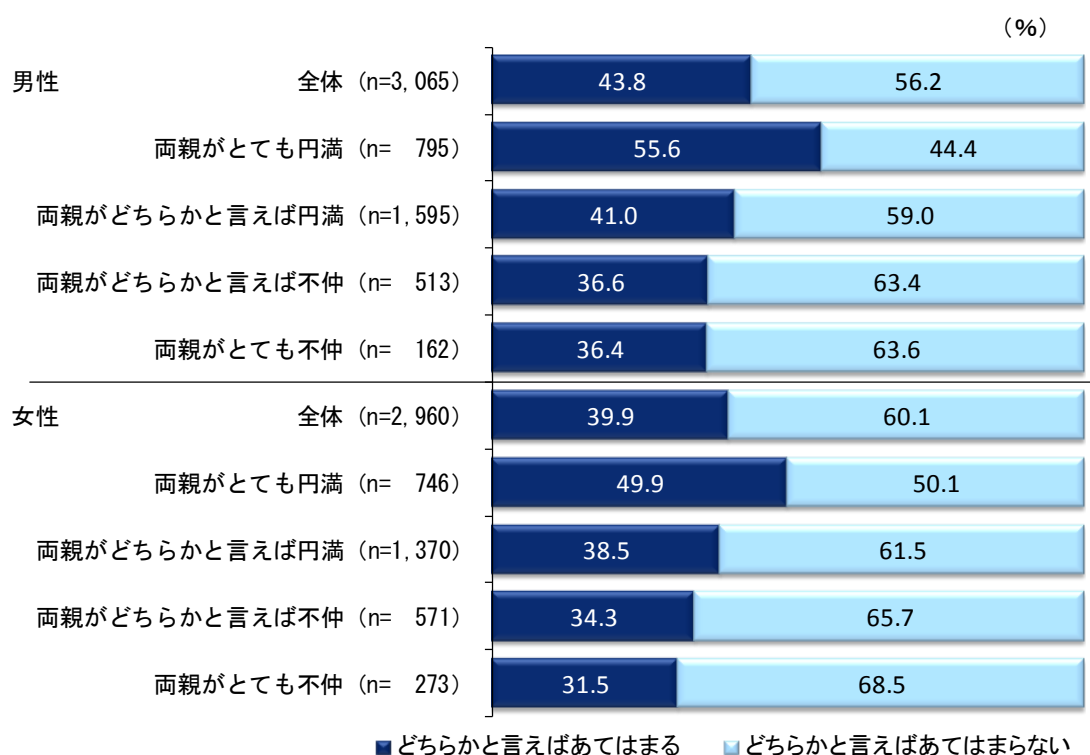
3. 両親の仲の良さと現在のライフスタイル・生活意識

- ◎ 両親が円満な人ほど「ポジティブ思考」
- ◎ 両親が円満な人ほど「生活に満足」
- ◎ 両親が不仲な人ほど「1人でいるのが心地よい」

➤ 両親が円満な人ほどポジティブに考えて積極的に行動する割合が高い

20～34歳の社会人に対して、物事をポジティブに考えて積極的に行動するかたずねたところ（既婚者は結婚前の意識について回答）、自分が中高生の頃に両親が円満だった人ほど「どちらかと言えばあてはまる」の割合が高くなっています。男性で「どちらかと言えばあてはまる」と回答したのは、「両親がとても円満」だった場合の55.6%に対し、「両親がとても不仲」だった場合は36.4%にとどまっています。女性も同様の傾向が見られ、「両親がとても円満」だった場合の49.9%に対し、「両親がとても不仲」だった場合は31.5%でした（図表33）。

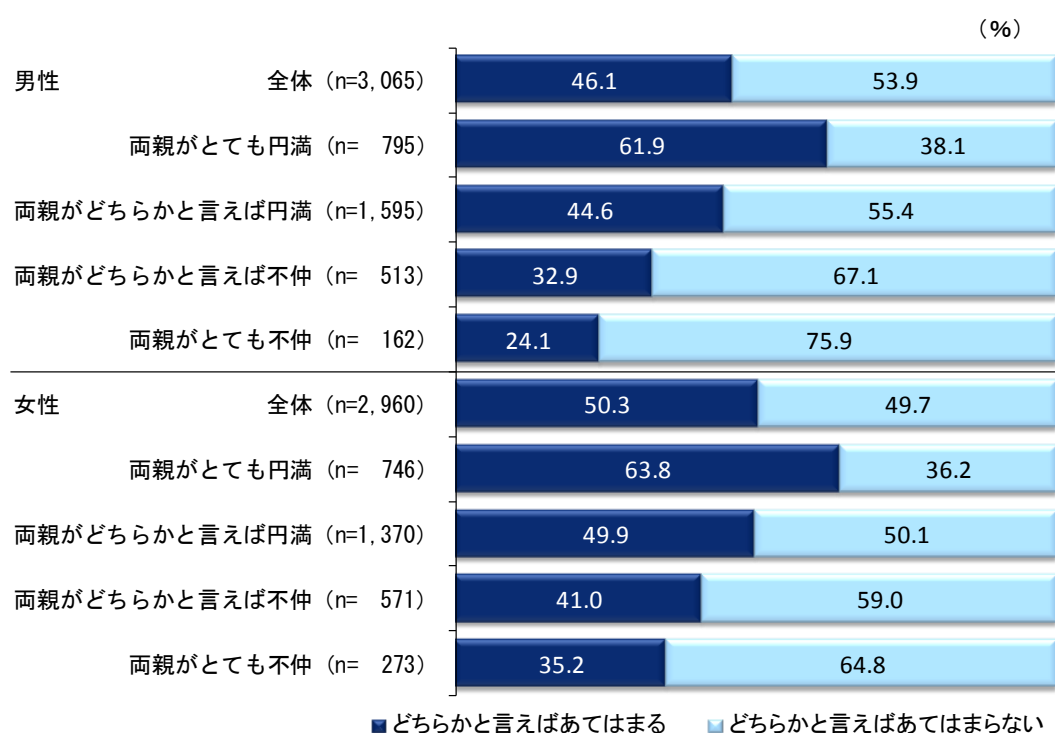
図表33 物事をポジティブに考えて積極的に行動するか
（20～34歳の社会人：中高生の頃の両親の円満度合い別）



➤ 両親が円満な人ほど生活に満足している割合が高い

20～34 歳の社会人に対して、生活に満足しているかたずねたところ（既婚者は結婚前の意識について回答）、自分が中高生の頃に両親が円満だった人ほど「どちらかと言えばあてはまる」の割合が高くなっています。男性で「どちらかと言えばあてはまる」と回答したのは、「両親がとても円満」だった人が 61.9%で「両親がとても不仲」だった人の 24.1%より 37.8 ポイント高くなっています。女性も同様の傾向が見られ、「両親がとても円満」だった人は 63.8%で「両親がとても不仲」だった人の 35.2%より 28.6 ポイント高くなっています（図表 34）。

図表 34 生活に満足しているか（20～34 歳の社会人：中高生の頃の両親の円満度合い別）

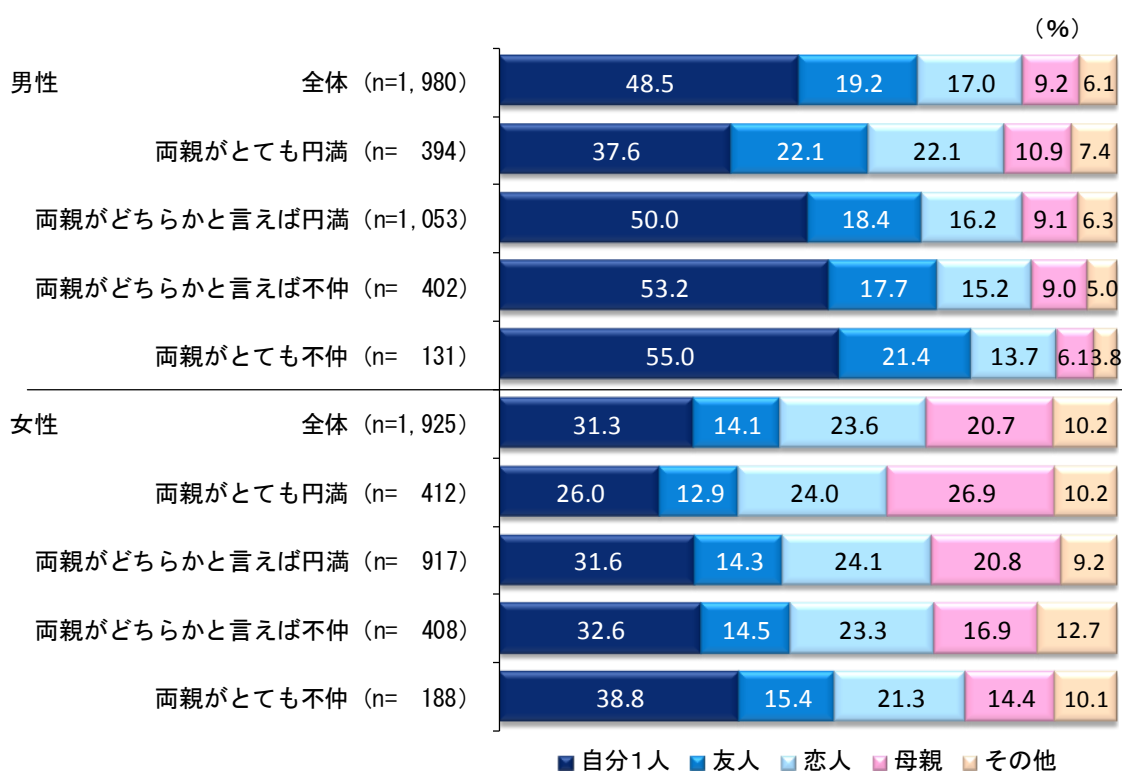


➤ 両親が不仲な人ほど「自分1人でいるときに心地よい」割合が高い

20～34歳の未婚の社会人に対して、誰と一緒にいるときの時間が一番心地よいかたずねたところ、男性で「自分1人」と回答したのは、自分が中高生の頃に「両親がとても不仲」だった人が55.0%で、「両親がとても円満」だった人の37.6%より17.4ポイント高くなっています。また、女性で「自分1人」と回答したのは「両親がとても不仲」だった人が38.8%で「両親がとても円満」だった人の26.0%より12.8ポイント高くなっています（図表35）。

両親の仲の良さは、子どもが結婚や他者との関わりの中で感じる心地よさなど、対人関係への意識と何らかの関係がありそうです。また、両親の仲が良かったほどポジティブ思考や生活満足度の高い子どもが多い結果も見られ、両親の仲の良さが子どもにこれらの点で影響をもたらしやすいのかもしれませんが。データで見ると、これらの傾向は特に男性に強く見られました。

図表 35 誰と一緒にいるときの時間が一番心地よいか
（20～34歳の未婚の社会人：中高生の頃の両親の円満度合い別）



V. 異性とのコミュニケーションの苦手意識と男女交際

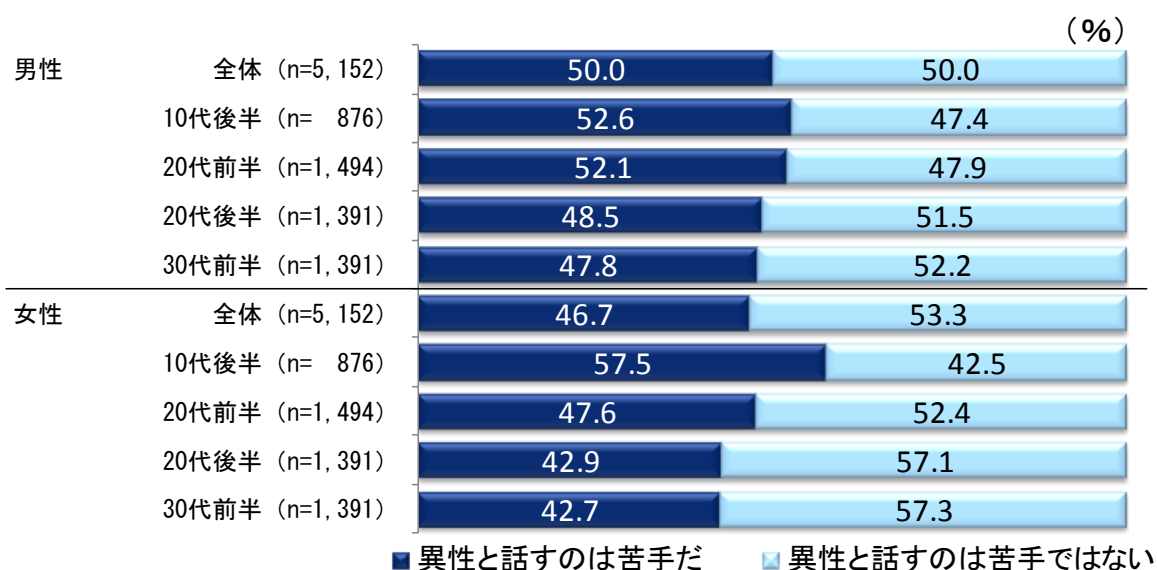
1. 異性とのコミュニケーションが苦手な人の男女交際

- ◎ 男性は2人に1人が「異性と話すのが苦手」
- ◎ 異性と話すのが苦手な男性の4割・女性の3割が「どのように男女交際すればよいか、よくわからない」
- ◎ 異性と話すのが苦手な男女の5割が「ふられるのが目に見えている」から告白しない

➤ 男性は2人に1人が「異性と話すのが苦手」

異性と話すのは苦手かたずねたところ（既婚者は結婚前の意識について回答）、男女とも年齢が低いほうが「異性と話すのは苦手だ」と回答した割合は高く、10代後半では男性52.6%・女性57.5%となっています。（図表36）。

図表36 異性と話すのが苦手か（15～34歳）

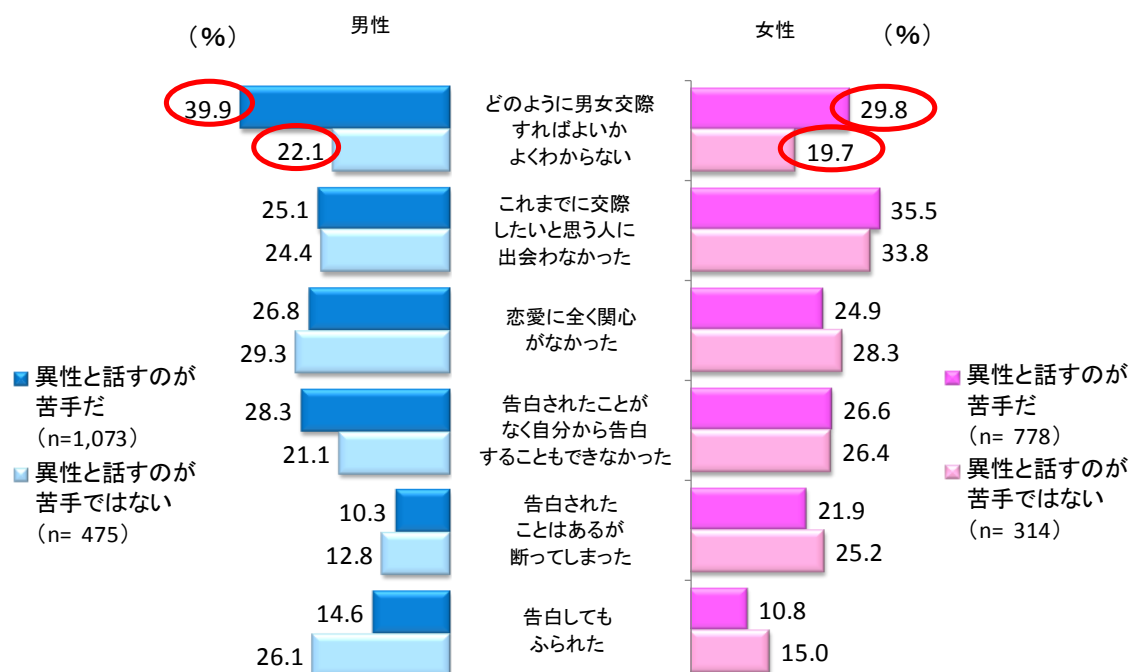


➤ 異性とのコミュニケーションが苦手な人は、どう男女交際すればよいかわからない！！

未婚者で交際経験がない人に対して、交際経験がない理由をたずねたところ、異性と話すのが苦手な人と、異性と話すのが苦手ではない人とで回答割合に最も差があったのは、「どのように男女交際すればよいかよくわからない」でした（苦手な男性 39.9%・苦手ではない男性 22.1%。苦手な女性 29.8%・苦手ではない女性 19.7%）（図表 37）。

図表 37 交際経験がない理由

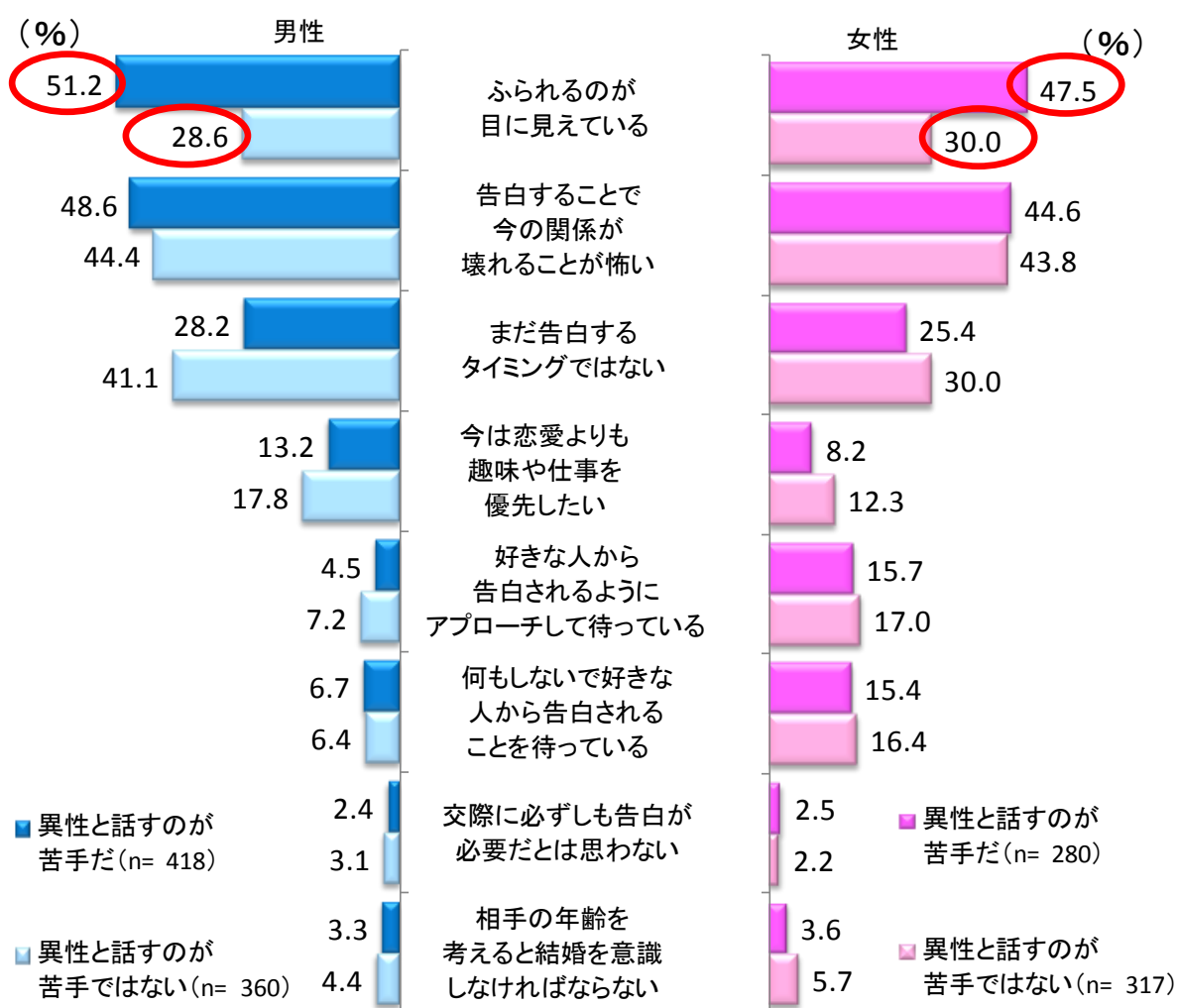
（交際経験がない 15～34 歳の未婚者：複数回答：異性と話すのが苦手か否か別）



➤ 異性と話すのが苦手な男女の5割が「ふられるのが目に見えている」から告白しない

未婚者で、恋人にしたいと思う異性はあるものの、まだ告白していない人に対して、なぜ自分から告白しないのかたずねたところ、異性と話すのが苦手な人と、そうでない人とで回答割合に最も差があったのは、「ふられるのが目に見えている」でした（苦手な男性 51.2%・苦手ではない男性 28.6%。苦手な女性 47.5%・苦手ではない女性 30.0%）（図表 38）。

図表 38 なぜ自分から告白しないのか（恋人にしたいと思う異性はあるが、まだ告白していない
15～34 歳の未婚者：複数回答：異性と話すのが苦手か否か別）



VI. 既婚者の独身時代の意識と未婚者の意識

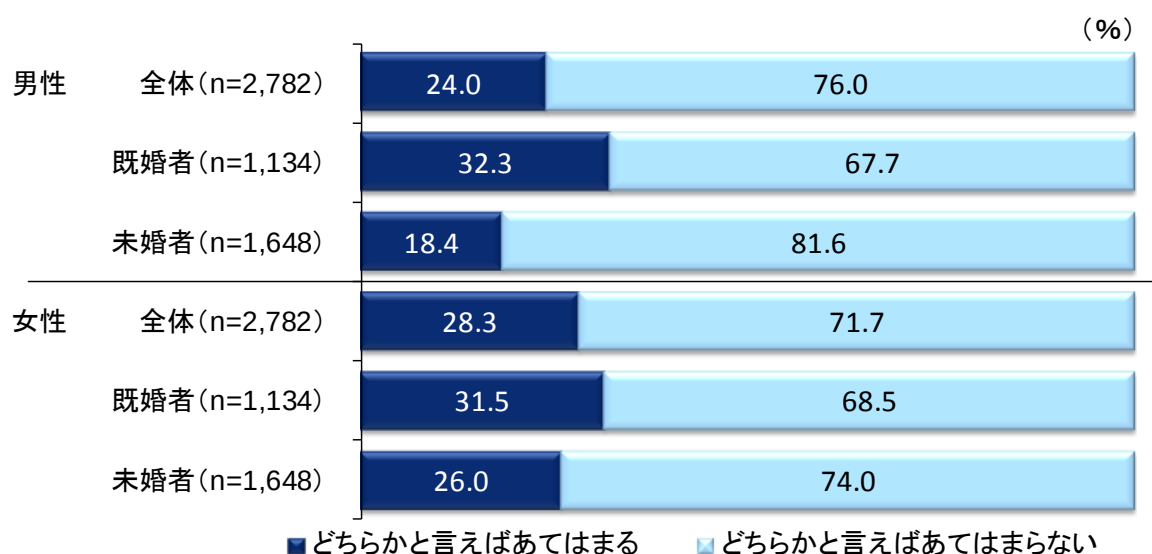
1. 既婚者の独身時代の意識と未婚者の意識

- ◎ 未婚者より既婚者のほうが「ルックス・見た目に自信がある」
(既婚男性 32.3%・未婚男性 18.4%)
- ◎ 未婚者より既婚者のほうが「物事をポジティブに考えて積極的に行動する」
(既婚男性 56.7%・未婚男性 35.4%)
- ◎ 既婚者より未婚者のほうが「自分と同等かそれ以上の学歴・収入等の異性と結婚したい」(既婚女性 68.0%・未婚女性 78.2%)

➤ 未婚者より既婚者のほうが「ルックス・見た目に自信がある」

25～34歳の男女に対して、ルックス・見た目に自信があるかたずねたところ（既婚者は結婚前の意識について回答）、既婚男性の「どちらかと言えばあてはまる」は32.3%で、未婚男性18.4%より13.9ポイント高くなっています。既婚女性の「どちらかと言えばあてはまる」は31.5%で、未婚女性の26.0%より5.5ポイント高くなっています。男性のほうが女性に比べてその差は大きくなっています（図表39）。

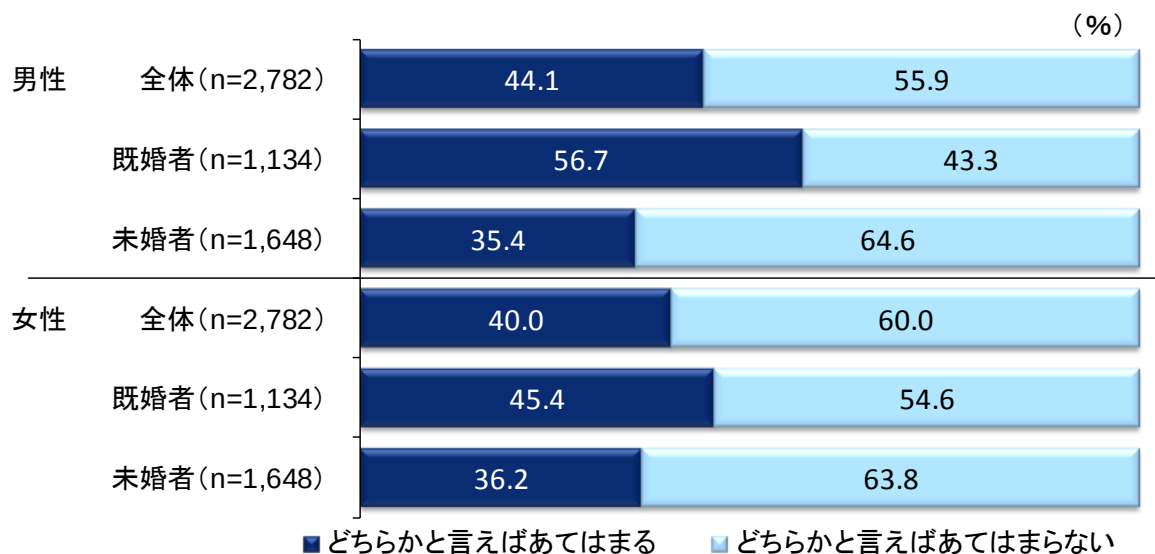
図表 39 ルックス・見た目に自信があるか（25～34歳：未既婚別）



➤ **未婚者より既婚者のほうが「物事をポジティブに考えて積極的に行動する」**

25～34歳の男女に対して、物事をポジティブに考えて積極的に行動するかたずねたところ（既婚者は結婚前の意識について回答）、既婚男性の「どちらかと言えばあてはまる」は56.7%で、未婚男性の35.4%より21.3ポイント高くなっています。既婚女性の「どちらかと言えばあてはまる」は45.4%で、未婚女性の36.2%より9.2ポイント高くなっています。男性のほうが女性に比べてその差は大きくなっています（図表40）。

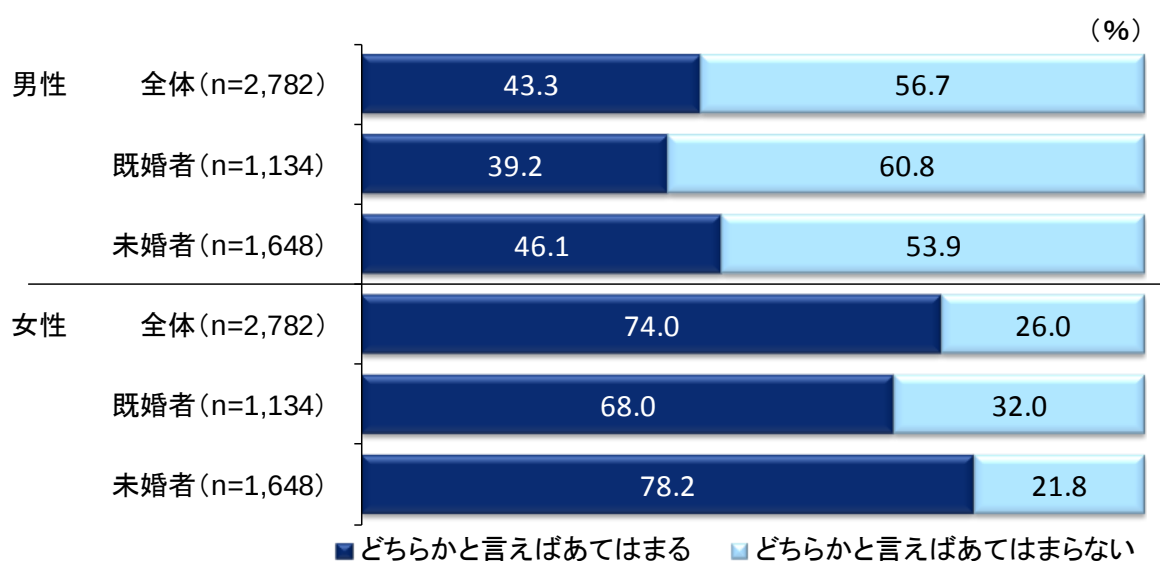
図表 40 物事をポジティブに考えて積極的に行動するか（25～34歳：未既婚別）



➤ **既婚者より未婚者のほうが「自分と同等かそれ以上の学歴・収入等の異性と結婚したい」**

25～34歳の男女に対して、自分と同等かそれ以上の学歴・収入等の異性と結婚したいかたずねたところ（既婚者は結婚前の意識について回答）、未婚男性の「どちらかと言えばあてはまる」は46.1%で、既婚男性の39.2%より6.9ポイント高くなっています。未婚女性の「どちらかと言えばあてはまる」は78.2%で、既婚女性の68.0%より10.2ポイント高くなっています。既婚同士・未婚同士を比べても、男性よりも女性のほうが自分と同等かそれ以上の学歴・収入等の異性と結婚したいという割合は高いです（図表41）。

図表41 自分と同等かそれ以上の学歴・収入等の異性と結婚したいか（25～34歳：未既婚別）



VII. 本リリースの最後に

本リリースでは、“恋愛・男女交際における意識や実態”を、恋愛・男女交際へのスタンスや普段の行動スタイル、多感な時期の生活環境など様々な切り口から分析を行ない、多くの興味深いデータが得られました。

人々の恋愛観や結婚観を分析していくことは、未婚化・晩婚化、ひいては少子化の背景を分析するにあたっての重要な視点のひとつと言えます。本リリースのデータを10代後半から30代前半までの男女の意識や実態を探っていく上でのヒントや傾向をつかむための参考資料としていただければ幸いです。

書籍『親子白書』刊行のお知らせ

明治安田生活福祉研究所は、このたび、今どきの親子関係を知るための書籍『親子白書』を、(株)きんざいから上梓いたしました。

子どもとその親をめぐる環境や価値観などは、時代とともに変化しています。

また、10代後半から20代の若者は、これから進学、就職、結婚といった人生の重大なイベントを迎えます。今どきの子どもたちの働き方に対する意識、男女交際の在り様、婚活事情などは親たちの10代、20代の頃とは様子が違っているようです。

本書では、これから社会に羽ばたく子どもと一緒に語らうための話題や材料としていただけるよう、10代後半から20代の子どもの考え方、行動などの実態や環境について幅広くデータで描くことを試んでいます。

なお、本書内容の一部は「東洋経済オンライン」の当社執筆記事でも好評連載中ですのでぜひともご覧ください。

◆東洋経済オンライン

公開日	タイトル	URL
2017年2月11日	大調査！ 親世代とこんなに違う、若者の恋愛観	http://toyokeizai.net/articles/-/157665
2017年2月19日	大調査！ 20～30代独身「結婚のソントク勘定」	http://toyokeizai.net/articles/-/158816
2017年2月25日	実際、「婚活」すれば何割が結婚できるのか	http://toyokeizai.net/articles/-/159986
2017年3月19日	10代男子がこうも「友達の多さ」に拘る理由	http://toyokeizai.net/articles/-/163413
2017年4月16日	年収1000万円以上で「教育パパ」は急増する	http://toyokeizai.net/articles/-/167799
2017年6月10日	男の子4割に反抗期ナン「今どき親子」の実態	http://toyokeizai.net/articles/-/175463